



老健 しずおか

静岡県老人保健施設協議会機関誌



撮影：富士川 河口

ご挨拶



静岡県老人保健施設協議会

会長

平田 善章

昨年3月時点で静岡県老人保健施設協議会加入施設は96施設でしたが、今年度末には101施設と6施設の新規加入がありました。高齢化が急速に進行し要介護者も急速に増加する中で、限られた国の財政を圧迫する事態は避けられません。施設へ入所できる高齢者は限られ、在宅介護の方向へ一層シフトすることは、国の政策からも明らかですし、そのようにならないを得ない問題だと思われます。地域包括ケアシステムを推し進めて、老健施設がその中心的役割を果たすように求められています。全国老健協会としても、介護、医療、リハビリ、など多職種が協働体制をとっている唯一の施設としての役割に自負があり皆さん総論としては賛成の方向ですが、人材の確保、財政的な問題となると、引けてくるのが心配です。老健施設のみが、いくら頑張っても、解決できる問題ではないからです。国が推進している在宅強化型老健になるためには、在宅復帰率、ベッド回転率、重症化率などクリアしなければならぬ、高いハードルがあり、現在全国に4000近い老健施設がある中の数%の施設が実施出来ているのみです。しかし従来型の老健施設でいつまでも存在出来るかどうかは、定かではありません。少なくとも、老健施設としての存在意義を保つためには、より質の高い医療、介護が必要であり、要求されることは間違いない事実だと思われます。公的な立場からの支援がない限り実現不可能な諸問題もあります。また老健で働く我々職員の努力も問われてくることは間違いありません。

地域の介護医療の中心的存在として存続し続けるためには、地域に密着した医療、介護、福祉に関わるあらゆる施設、職種の人たちとの連携を密にすることで、より効率的で利用者の皆さんに満足、安心してもらえるシステムを考えて行かなければならないと思います。それぞれの地域により、それぞれの地域特性がある中、各市町村単位での連携も必要となるでしょう。

我々自身の自己啓発、教育、研修は勿論のこと、各施設、県老健協会単位での連携が重要な意味を持つものと考えられます。特に静岡県に住む我々にとって、喫緊の課題である震災被害は避けて通れない問題であり、県だけではなく近隣都道府県との連携を築く必要があるかと思われまします。

また看取りまで含めた多機能化を求められている老健施設にとって、一層の医療の充実（必要な医療は医療保険でカバー出来る）、終末期医療、看護、介護の再考（強制栄養の適応等）など質の向上をめざした効率的なシステム構築が望まれます。

在任中は何も建設的なことが出来ませんでした。幸い有能で活動的な中島先生を後任会長として推挙させて頂き、選出されることが出来ました。課題が山積する現状ですが、今後の更なる発展を願っています。

ご挨拶



静岡県健康福祉部福祉長寿局

介護指導課長

岩田 信夫

日頃、貴会及び貴会会員の皆様には、本県の高齢者保健福祉の推進に御尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国は、世界に例を見ないスピードでの高齢化の進展により、年金・医療・介護の社会保障制度を維持するための社会保障と税の一体改革などが大きな課題となっており、介護分野においては、平成12年にスタートした介護保険制度も着実に定着してきている一方、要介護認定者の増大に伴う給付費の増大、介護従事者の人材確保対策やサービスの質の向上あるいは医療との連携などの多くの課題を抱えております。

特に、高齢者の単身・夫婦のみ世帯が増加する中で、できるだけ入院期間を減らして早期に家庭復帰・社会復帰を実現し、高齢者が要介護状態となっても、尊厳を持って、住みなれた地域で在宅を基本とした生活の継続を目指す地域包括ケアシステムの構築などが求められており、この実現に向けて昨年4月には診療報酬・介護報酬の同時改定が行われ、介護老人保健施設関係では、在宅復帰系やベットの回転率を評価する報酬体系の創設などがありました。

また、認知症高齢者を地域で支えるという国の「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」は本年4月からスタートしますが、このオレンジプランのキーワードは、「地域」と「医療と介護」であります。

このようなことから、今後、医療と介護の両面を持ち、これまでも地域に根ざしたサービスを提供している介護老人保健施設は、地域包括ケアシステムを推進する上で、在宅復帰支援施設として、また認知症を地域で支える施設として、その中核的役割を果たすものと大いに期待されております。

貴会及び貴会会員の皆様におかれましては、介護老人保健施設の理念と「5つの役割と機能」を踏まえ、高齢者の自立した在宅生活を支える地域の拠点として、益々御活躍いただくようお願いいたします。

タカネ園



愛鷹山麓のふもと、南に駿河湾を一望しまわりはお茶畑に囲まれ、その茶畑にここ1～2年決まってつがいの野生鹿が訪問してきます。そんなのんびりとした自然豊かな環境の中に当施設はあります。

個別リハビリはもちろんの事、レクリエーションにも力を入れ、なかでも事務局長の台本で事務職員等による水戸黄門漫遊記劇は、ほぼ全国を回り、泣いたり笑ったり、利用者様にとても好評です。

「ありがとう」という言葉を沢山聞く事ができる様、スキルアップを目指し、さまざまな委員会を立ち上げ、毎月勉強会を開催。愛康会のシンボルマークの様に、人を愛し、植物を愛し、花をいとおしむ心を持ち、利用者様一人ひとりに合った介護サービスができる様、日々努力しています。



リバフル ケア

「お昼はきつと味噌ラーメンだ！」調理室からの揚げの香りにリハ訓練中の会話。そんな笑顔が溢れる家庭的な雰囲気の中で、皆さんが安心と生き甲斐のある毎日を送って頂くのが私達スタッフの願いです。

利用者様投稿作品（第3回いきいき川柳大会）

- ◎風呂上がり 足を揉まれて 気持ちいい
- ◎白寿でも 私の先輩 5人いる
- ◎大家族 夢見て息子の 嫁探し

スタッフ投稿作品（日頃のケアを通して）

- ☆ほめられて 時に叱られ 孫になる
- ☆見なかった ふりした後に 交わす笑み



ヒューマンライフ富士

当施設は、平成5年に新富士病院の併設型老健として開設し、現在は195床で運営しています。背後に雄大な富士を仰ぎ、正面には駿河湾を見渡す静かな環境に位置しており、明るく広い機能的な空間となっております。又、「身体拘束ゼロ宣言」を行い、利用者様の人権を尊重したケアに努めています。

季節の行事やレクリエーションを通して、楽しく穏やかな入所生活を送って頂ける様に援助をしています。

介護老人保健施設の役割、機能の更なる向上に取り組み地域に必要とされる施設を目指します。



みくりや園

当園は東に箱根、西に富士山と自然に囲まれた場所にあります。ひとたび窓を開けると、近隣の商店街の賑やかさや小学校のグラウンドから子供たちの元気な声が聞こえ、ご利用者の顔も自然とほころびます。

入所定員67名と、施設としては小さな規模ではありますが、その分ご利用者同士、スタッフとの交流も深く、これから当園らしい温かみのある介護に努め「私もいつかはこの施設に…」と思える環境を提供していきたいと思っています。

また、園内には習字・散髪・踊り・アニマルセラピー等のボランティアの方が見え、ご利用者も毎回楽しみにしています。習字では「書く」だけでなく、中には思いのまま「描く」方もいます。そのような時、改めて決められたことだけでなく、その人らしさを大切にして、これからも介護をさせて頂きたいと思っています。



納涼祭：エイサー太鼓のボランティア

安 寧 の 郷

『安寧の郷』は、四季折々、様々な彩りを見せる自然美豊かな環境の中、ご家族そして地域の皆様にご支援ご協力いただき、開設より19年を迎えました。当施設では利用者様に安全に安心して希望ある生活をしていただける様、リハビリの充実はもとより、豆まきや納涼祭、敬老会等、季節感溢れる行事の他、ボランティアの方々のご協力による楽しい企画を実施しております。

日々刻々と変化する状況の中、これからも地域に根差し開かれた施設を目指すとともに利用者本位で多様なニーズに柔軟に対応していける様、職員一同変わることなく邁進して参ります。



富士ケアセンター

優美な富士山を正面に、300本の桜に囲まれた当施設。季節ごとに変化する風景に、利用者様の笑顔が見られます。

入所定員100名、通所定員60名に対し併設の富士リハビリ病院と共に、心のケアを重視しながら、心身機能の維持回復を目指すリハビリを提供しています。また、行事やレクリエーション等を通じて、家族や地域との関わりを持ち、豊かな日々を過ごせるよう支援しています。

今後も職員一丸となって、人や地域との繋がりを大切に心のケアを目指します。



長泉ケアセンター 博寿園

博寿園は雄大な富士山の麓に位置し、今年で開設19年目を迎えました。

昨年5月より、通所リハビリテーションの定員を30名から40名と増員し、より多くの利用者様に充実したリハビリテーションの提供ができるよう、理学療法士をはじめ、全スタッフが一丸となりケアを行っております。入所者100名、通所40名、短期入所等充実した施設と地域の方々より多くの支えを頂き、季節の行事やボランティア等、毎年盛大に取り行い、ご利用者様ご家族の方にも楽しんで頂いております。また、365日24時間診療を行っている池田病院が隣接しており、医療面においても安心して生活して頂ける環境が整っております。



梅 名 の 里

梅名の里は平成6年8月の開設から今年で19年目を迎えます。『地域と共にくらす梅名の里』を施設理念に、地域の皆様やご家族様と共に歩んでまいりました。施設を身近に感じていただけるよう、様々な取り組みを行なっております、年3回実施する家族介護教室もその一つです。栄養室も『がんばらない介護食』と題し、家庭でもできる介護食の工夫についての講義や、実際に調理と試食をしていただき、高齢者の食事と栄養に関する知識を深めていただいております。

施設に働く様々な専門職の多職種連携により地域の皆様に、介護負担の軽減と介護の悩みや疑問に対し少しでもお応えできるよう、また、ご利用者様にご満足いただけるサービスを提供できるよう、そして『選ばれる施設』を目指して日々努力してまいります。



あすなろ

あすなろは「一人ひとりが、熱く優しい心を持ち、豊かな知識を身につけ、日々、技術を磨いて、多職種協働のサービスを提供する」ことをスローガンとしています。

そして、利用者様の質の向上を考え、余暇活動の充実に力を入れ、園芸活動や音楽活動など色々なことを行っています。

これからも、家庭的な雰囲気大切に、職員一同が笑顔で明るい介護を行っていきます。



おおひら

おおひらは、沼津市の大平地区に平成7年5月に開設し、今年で18年目を迎える入所定員100名（短期入所療養介護含む）通所リハビリテーション40名の施設です。

季節ごとの行事食を楽しみにして下さる利用者さまも多く「おいしい」との声も聞かれます。「明るく」「優しく」「温かく」をモットーに、「家庭復帰の足掛かりの場」となるよう職員一同、笑顔でがんばっております。



ききょうの郷

ききょうの郷は、入所100名（短期入所含む）通所リハビリテーション70名（土日40名）で、訪問介護と居宅介護支援事業所を併設しており、多機能サービスを駆使して多様なニーズにお応えする体制を整えております。

「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」を理念とし、介護予防から生涯を通じて個々に合った生きがいを見出せるよう、リハビリにおいても生活や人生の再生、回復に主眼をおいております。

どんなに年老いても、どんなに障害があっても、なお輝く人生がある。私たちはその可能性と未来を信じ、人生のリハビリに関わり続けます。



熱海ナーシングホーム翔寿園

四季を通じて温暖な素晴らしい環境のもと、ご高齢者が、ご家族と健やかに過ごされるために、自立と新たな能力を高め、ご家族の元へスムーズに戻れるよう、リハビリテーションを中心に、看護・介護・医療・生活ケアを行います。

地域の方々に開かれた施設を目指し少しでも皆様のお役に立てるよう心がけております。

●ご利用対象者●

病状安定期にあり、入院治療する必要はないが、リハビリテーション・看護・介護を中心にケアを必要とする介護認定を受けている方。

定 員

82名（短期4名）

療養室

1人室……10室

4人室……18室

その他

通所・予防通所

リハビリテーション

定員……13名

のぞみ

「のぞみ」は伊東市宇佐美の丘の上、周りをみかん畑に囲まれた閑静な地にある施設です。平成11年に開設、今年で14年目を迎えます。

入所定員は100名（短期入所4名を含む）通所リハビリ20名、併設で居宅介護支援事業所、地域包括支援センターがあります。また、関連（透析）施設として「伊豆のさと診療所」が隣接し、透析加療中の方でも安心して当施設をご利用になれます。

職員・利用者様が一体となって参加する季節の行事やレクリエーションを通して、楽しい中にも穏やかな施設生活を過ごして頂くように努めています。常に「真心と責任」を心がけ、利用者様の側に立った「安心できる」サービス提供を職員一同、目指しています。



ラ・サンテふよう

ラ・サンテとは『健康』を意味するフランス語です。利用者の方たちが健康でいられるよう、全ての職員が情熱をもってケアに取り組んでいます。

私たちの施設は、三島市北部の高台（芙蓉台）に位置し、北は富士山を、西は駿河湾を望む絶景の場所です。

全ての職種が連携をくみ、在宅復帰・自立支援のための短期・集中的リハビリテーションを展開しています。また「身体拘束ゼロ宣言」を行い、利用者様の人権を尊重したケアに努めています。パワーリハビリテーションによる活動性の向上や、管理栄養士による栄養相談、歯科衛生士による口腔ケアなど介護予防にも積極的に取り組んでいます。リハビリだけでなく、利用者の方たちの生活の彩りと日々のレクリエーションやクラブ活動も活発に行っています。



河津おもと苑

今年も“河津ざくら”の開花の季節になりましたが、昨年同様、遅れています。年末暖かく、雨に恵まれると開花が早いそうですが今年は、寒波が押し寄せ、その影響だと思います。掲載の雪景色は1月のものです。“ひと冬”に2～3回みられますが、すぐに溶けてしまいます。利用者様の“お花見”も3月に入りそうです。

この時期どこの施設も“インフルエンザ”等の対応に四苦八苦していると思いますが、当施設も面会等制限を設け、何とか春迄気を抜かない様頑張っております。

“初心忘るべからず”という言葉がありますが介護の心がまえも、利用者様の為にと考えていたものが、様々のリスク等に悩まされ、いつの間にか“介護する側”の都合で物事が運ばれている様な気がしてなりません。“馴れ”にはまってしまい“初心”をどこかに置き忘れてしまったと感じるのは私だけでしょうか？改めてみつめ直す必要を感じています。



みゆきの苑

みゆきの苑は、富士宮市のほぼ中央に位置し、交通の便は良く南富士病院前バス停下車1分、富士山を背負った名勝の地に立地しております。

入所定員109床（うち認知症専門棟36床）通所定員70名の、南富士病院併設の施設です。当施設の理念は「明るく、家族的な雰囲気の中で、笑顔と温もりのある療養生活が送れ、利用者の一日も早い家庭復帰をめざした地域に開かれた施設」として、地域の皆様やご家庭とのつながりを大切に考えた運営を行っています。

毎月開く“お誕生会”や四季折々のイベントには、地域のボランティアの方々にご出演いただき、楽しいひと時を過ごしています。



な ぎ さ 園

なぎさ園は、伊豆半島南端に位置する介護老人保健施設として、平成13年4月に開設し今年で13年目を迎えます。

入所定員80名（1階一般棟50名、2階認知症専門棟30名）、通所リハビリテーション定員20名の施設です。

海と山に囲まれた静かで、暖かい気候の中、「手から手へ心から心へつなげる施設～心地よい生活空間を～」をなぎさ園の理念に掲げ、日々スタッフ一丸となって取り組んでいます。

また、安心と安全を考慮し、地域に根ざした施設として、笑顔あふれるサービスを提供しています。



し お さ い

しおさいは、在宅復帰を支援する生活リハビリテーションを通じて、病院と家庭をつなぐ「もうひとつの楽しい家」を目指しています。地域の要介護高齢者の一日も早い家庭復帰と社会復帰を支援する施設です。在宅復帰へ向けたネットワークを構築し、最適な療養環境で最善のケア・リハビリテーションを提供。利用者の方々が心身ともにリフレッシュし、楽しく有意義な生活が送れるよう支援しています。医療はグループの西伊豆病院がバックアップ。ボランティアを積極的に受入れて、地域に根差した施設をめざしています。



グリーンス 修善寺

当施設は、平成14年4月に開設し、赤十字の施設として、人道・博愛の赤十字精神のもと、ご利用者のお気持ちと人格を尊重したケアサービス、清潔で快適な生活空間、おいしい食事の提供に努めております。

特に伊豆赤十字病院に併設されており、利用者様の緊急時における医療連携を行っています。また、伊豆市役所の前に位置し、入所定員100名、通所リハビリ定員30名の施設であり、伊豆市で唯一の老健施設として地域の期待をになっています。

定期的な行事・レクリエーション等により、明るく家庭的な日常生活を楽しく過ごしていただくよう『利用者さんに寄り添い、その人らしさを大切に』をモットーに職員一同看護・介護に心がけてまいります。



ひ ろ み

『ひろみ』は、北に雄大な富士山を仰ぎ、南に駿河湾を望む環境にあり、今年で開設12年目を迎えます。

近隣の商店街や小学校、まちづくりセンターでの交流など地域に根ざした施設として取り組んでおります。特にリハビリにつきましては、ご利用者様一人ひとりの状態に合わせ、理学療法士・作業療法士を中心に、転倒予防体操・作業療法・学習療法・筋力トレーニング（CGT）などに力を入れ、自立した生活を営むことを支援し、家庭復帰を目指しています。

今後も皆様に親しまれ、信頼されるより質の高いサービスが提供出来るよう、職員一同一層の努力を重ねてまいります。



椎 路 の 里

当施設は、北に愛鷹山と富士山、東に箱根峠を望む場所にあります。入所定員100名、通所定員120名の施設です。毎月1回入所と通所別々で行事を行っています。通所では毎月の行事に100名を超えての利用者様がご利用されております。今年初めての新年会では、職員製作の獅子頭による獅子舞や日本舞踊・新春歌謡ショー・リハビリ体操等、各部署とも連携して多彩な行事を楽しんで頂くよう、取り組んでおります。

利用者様に多くの笑顔が見られる施設作りに努力して参ります。



獅子舞



野点の会

サン 静 浦

私たちサン静浦は介護をするご家族をフォローすることも重要視してまいりました。24時間、目を離せなかったりする介護をお一人で抱え込むのは心身ともにつらいことです。

私たちは家族全員が幸せになれるようお手伝いいたします。

サン静浦は、これからも利用者様の生活機能の向上と自立能力を高め、家庭生活への復帰を目指すとともに、快適な生活の場となりますようにご家庭と地域と連携を図りながら利用者様ご家族様のお手伝いをさせていただきます。(写真の絵は、サン静浦で毎月開催される絵手紙教室の講師の先生によるものです。)



みしゅくケアセンターわか葉

みしゅくケアセンターわか葉は、東名裾野病院の併設施設として、平成15年11月に開設しました。

雄大な富士の裾野に位置し、一般棟54床、認知棟46床、通所リハビリテーション定員40名の施設として、地域の皆様に支えられ10年目を迎えました。

各専門スタッフの下、利用者様の持てる力、残された力、秘められた力を生かし、個別リハビリや生活リハビリを通じ、生活自立支援に努めております。また、毎月の行事食の提供や、季節行事は利用者様に喜ばれております。

家族や地域との結びつきを大切に、利用者様に合ったケアが提供できる様、目指しております。



夢 の 樹 の 郷

当施設は霊峰富士山と東洋一の湧水量を誇る柿田川に囲まれた、自然豊かな場所に位置しています。

その恵まれた環境の中、ご利用者、ご家族、地域の皆様に支えられ今年で開設10周年という一つの節目の年を迎える事ができました。

私達はこれまでの経験から学び、それを活かし、日々変化するご利用者のニーズに対して『今日やれる事は今日提供する』をモットーに「元気」、「活気」、「覇気」ある生活をしていただく為のお手伝いとして、季節を感じる行事や食事、作品作りなどに取り組んでいます。

今後ともご利用者との『絆』をテーマとしたサービスの提供に努め、お一人おひとりの夢を叶らす(現実とする)大樹となるべく職員一同研鑽を積んでいきます。



みはらし

伊東市介護老人保健施設みはらしは、平成18年4月1日に伊東市が開設者となり、公益社団法人地域医療振興協会が指定管理者の指定を受け開設7年が経ちました。



施設の利用定員は、一般入所85名、認知症40名(短期入所含む)通所リハビリテーション30名となっております。

内部空間においては、曲線廊下で家庭的な雰囲気を演出できるようS字型の形状になっています。施設の理念「利用者の皆様の個性を尊重し、安全に配慮しつつ生活機能の維持・向上を支援し、在宅での自立を支援します」のとおり温泉を利用した個別浴、個別リハビリ、栄養マネジメントに重点を置いた利用者一人ひとりに合った介護計画を基に、常に安心に心がけ、ご利用される皆様が生きて生きた在宅生活を送れるように、地域の皆様のご協力のもと自立に向けて共に支援してまいります。

いかる野

いかる野は、富士山の麓、白糸の滝上に位置しており、今春8年目を迎えます。入所は定員100名、通所は定員40名で施設内に居宅介護支援事業所フジヤマがあります。

ご利用されている方は様々な障害がありながらそれを個性と捉えて生活しており、表情豊かで笑顔が多いのが特徴にあげられ、施設スタッフと助け合い、支え合いながら明るい雰囲気の中で療養生活を過ごしています。



(運動会 日頃のリハビリの成果を…)

(秋祭り 男性スタッフによるステージ)



いとうの杜

介護老人保健施設いとうの杜は、今年で開設7年目を迎える事が出来ました。これもご利用者の皆様はもとより、地域の皆様や関係者の皆様方に支えて頂きましたお蔭様と感謝申し上げます。

さて私共の施設ではご利用者の皆様やご家族の皆様に気持ち良くご利用頂く為に「接遇・マナー」の向上に力を注いでおります。まず「エチケットコンクール」です。これは年3回、「笑顔が素敵な職員」「言葉遣いが丁寧な職員」等テーマを決め職員同士で投票します。選出された職員は表彰され自作のバッジを付け、意識の向上を促し他職員の指導にあたります。また、「環境整備コンクール」も行いました。これは各フロア部署対抗で「安全」「清潔」「過ごしやすく家庭的」「おもてなし」等の項目に基づいた企画を立て実施、「接遇委員」が採点します。3ヶ月後に採点結果を発表し、一番優秀な部門には表彰致しました。表彰されなかった部署もこの機会に環境整備に継続して力を注いでいます。ご利用者の皆様に少しでも快適な生活を過ごして頂く為、職員一人ひとりが皆で考え皆で作っていき、このような活動を今後も続けて参りたいと思います。

ふれあいの下田

平成18年にオープンしてから7年が過ぎ、数ではなく、質が問われる時代になった事を強く感じています。老健として絶対的に必要なサービスはしっかりと提供したうえで、個人個人の状態状況に合わせた利用者本位の、より満足度の高いサービスの提供を目指して日々頑張っています。その一環として「食」の楽しみを思い出していただこうと、バイキングに力を入れています。最近では「スイーツ」「寿司」「干物」「お芋」「クレープ」などなど…。毎回利用者様の笑顔を見るのがたまりません。

これからも一人でも多くの方から「ここに来て良かった」と言ってもらえる施設を目指していきたいと思っております。



かぐや富士

美しく雄大な富士の山。その山に育まれた壮麗な景色が望める位置に「かぐや富士」はあります。

当施設は入所定員90名、通所リハビリテーション40名に居宅介護支援事業を加えた開設4年目を迎える施設です。

趣向工夫をこらした季節ごとのイベント・レク・リハビリの充実。もちろんボランティアの方々の訪問など地域のご協力もあり、広く明るい開放感あふれる館内には優しい時間がいつも流れています。

そのような中で利用者との心と心の通い合った介護を提供できるよう、そして家庭的な雰囲気の中で利用者の自立の支援ができるよう、笑顔いっぱいの活気ある、安心してご利用いただける施設をめざして、職員一丸となり初心を忘れず努力をしていきたいと思ひます。

今後ともよろしくお願い致します。



サンビューみしま

サンビューみしまは、平成13年に三島社会保険病院の併設型老健として開設した入所定員100名、通所リハビリテーション定員40名の施設です。箱根西麓高台に位置し、富士山・駿河湾が一望できる恵まれた環境にあります。併設病院と共同の無料シャトルバスが三島駅と伊豆箱根鉄道の三島田町駅から運行しています。

季節にあった行事やクラブ活動を通じて御利用者様に楽しんでいただけるように努めています。毎年、納涼祭では三島中島八坂太鼓や地元のシャギリをご披露いただいたり、敬老会では地元保育園の園児にお越しいただくなど地域との交流も大切に、地域社会から信頼される施設を目指しております。

▼納涼祭「よいのさ」



▲納涼祭
「三島中島八坂太鼓」



新富士ケアセンター

当施設は富士市街と駿河湾を一望でき、北側には霊峰富士が聳え立つ場所に位置しております。

入所定員は104床（短期入所療養介護含む）で、「等身大のいのちと誇り」をモットーに、比較的介護度が重度な入所者に対し、木目細やかな質の高いサービスを提供しています。医師をはじめ各職種スタッフが定期的に集まり、話し合いを通じ連携をとり、併設となる新富士病院の協力を得て培った知識と経験を基に、入所者の方々により安心して自分らしい日常生活を送れる様に支援をしています。

新富士病院以外に同一敷地内には、介護老人保健施設ヒューマンライフ富士と、在宅部門があり、協力体制を生かして「入院入所から在宅、医療から介護まで」と幅広いサービスを提供できることで、より良いサービスを選択して利用できるシステムとなっています。

今後も向上心と日々の努力を忘れず、入所者の満足度向上、そして、地域に愛される施設を目指します。



あしたかケアセンター

当施設は介護療養型老人保健施設として開設し、今年で5年目を迎えます。昨年の法改正時より、喀痰吸引若しくは経管栄養実施者、認知症老人自立生活度等一定の基準を満たし、強化型の指定を受けています。平均介護度4.2、ターミナルケアの実施もしており、重度の利用者を受け入れる役割を果たしています。「高齢者を敬う その人間性を重んじる」という法人の基本方針を礎に、利用者により添った支援を提供できるよう努めています。また周辺地域には市・県営団地があり、地域の健康増進に貢献すべく関わりを大切にし、地域福祉に幅広く応えていけるような施設を目指しています。入所定員75名、通所リハビリテーション定員40名、居宅介護支援事業所、愛鷹クリニック併設。



あかつきの園

当施設は開設22年目を迎えております。今まで築いてきた経験を活かしながら日々業務の見直しを行い利用者が生活しやすい施設でありたいと思っております。毎月多職種の情報交換や施設内の業務について会議や研修を行っています。感染症が流行する時期を前に、外部より講師を招き「手洗い研修」を看介護・事務・給食などすべての職員を対象に実施しました。手洗いは簡単にでき一番重要な感染対策です。抵抗力の弱い利用者を守るために適切な方法で行う必要があることを学びました。予防を第一として感染者が出た場合の対応策も整えてあります。

利用者は長期化し認知症が進行して食事などほとんどすべて介助が必要な方が増えてきました。生活の中で少しでも楽しみを提供したいと思い、毎月の誕生会や日々のレクリエーションを計画しています。60代から100歳過ぎの方まで年齢層が幅広く、認知症や寝たきりの方も多いい中で皆さんに喜ばれるレクを考えることは難しく悩まされています。多くの方が参加でき、楽しめるものが「歌」です。皆で一緒に歌い、聞くことで昔を懐かしむことができます。また施設の中では「食べること」が大きな楽しみになっています。新メニューを考え、行事食や趣向を凝らしたおやつを提供しています。今後も利用者の声を聞きながら新しいことも取り入れてケアを行っていききたいと思います。



ケア・センター瀬名

ケアセンター瀬名は、平成元年に静岡瀬名病院の併設施設として、竜爪山を望み閑静で緑豊かな環境の中でスタートしました。静岡バイパス瀬名I.Cから車で10分の距離に位置し、交通アクセスも便利です。

ケアセンター瀬名では、通所リハビリテーションにおいて、療法士による個別リハビリテーションに加え、体の深い部分にある筋肉（インナーマッスル）を鍛える事により、体幹機能の向上を目的とする新しい集団リハビリプログラム『インナーマッスルトレーニング』をはじめました。

このインナーマッスル達は、主に姿勢を細かく調整したり、関節の位置を正常に保ったりするという働きをしています。利用者全員が参加できるマット運動等のプログラムを実施しています。

また平成24年4月より、リハビリテーションを特化した短時間（2時間以上3時間未満）の通所リハビリもスタートしました。



焼津ケアセンター

焼津市にあります焼津ケアセンターです。平成7年に開設し焼津市の老健としては一番古く歴史があります。入所定員150名、通所定員60名。通所利用者の方には、開設当初からずっと行っているプールリハビリも好評を頂いております。その他日替わりのレクリエーション活動、クラブ活動など楽しみにして頂ける通所リハビリであり続ける事を大切にしております。PT6名、OT2名、ST1名体制でリハビリも充実しており、利用者様には大変喜んで頂いております。

<プールリハビリ用プール>



ケア・センターひまわり

眼下に清水港、遠くに富士を望み、住み慣れた清水の町を感じる事ができる施設として開設、今年で20年目を迎えます。自宅への復帰を目指し支援しながらも、施設でも楽しく、快適に過ごしていただけるように…と、食事やリハビリ、レクリエーションなどに力を入れています。

ご利用者様一人ひとりのニーズに合わせた食事は、管理栄養士指導の下、施設の厨房で毎食心を込めて手作りしています。月に一度趣向をこらした「喫茶コーナー」は「今月はいつかな?」と、話題にのぼるほど好評です。

また、リハビリ専門スタッフによる機能訓練で自立した生活を応援しています。最近取り入れた音楽療法では、昔懐かしい歌をキーボードの生演奏に合わせて歌います。「次はこんな曲を歌いたいよ」とリクエストも出るなど、皆さん積極的に参加されています。通所リハビリでは、季節を題材にした作品に各自で取り組み、完成すると「孫に見せるよ」と、嬉しそうにご自宅に持って帰る姿も見られます。



サンライズ大浜

当施設は、開設18年目を迎え、より一層ご利用者様お一人お一人のご希望やニーズに合わせた、質の高いサービスの提供を目指し、努力してまいります。

併設サービスに通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所を持ち、本体である介護老人保健施設と松生整形外科医院と共に地域の皆様に介護や医療サービスを提供してまいります。

アクティビティーの充実にも、力を入れており、恒例の秋祭りをはじめ、おやつパーティー、大道芸見学や回転寿司等への外食ドライブも行なっています。

また、近隣の小学生の皆さんとの地域交流会を実施しており、小学生の皆さんには、当施設ご利用者の皆様とのお話や、施設内見学、認知症勉強会、車椅子乗車などを体験していただいています。



コミュニティーケア高草

高草山の麓、梅や桜など多くの花木に囲まれた環境の中に位置するコミュニティーケア高草は、平成8年に開設され、今年で開設17年目を迎えます。入所定員は84名、通所リハビリテーションは115名の施設です。

毎月の行事やレクリエーションも四季折々の季節を感じながら楽しく時間を過ごすことができます。

理学療法、作業療法、言語療法などのリハビリテーションに加え、安全に美味しくお食事を召し上がっていただくことを目指して、言語聴覚士による食事前の嚥下体操や口腔機能向上のリハビリテーションが行なわれております。また、介護予防事業としての運動機能向上プログラム等の2次予防事業も行なわれております。



お問合せや施設見学のお申し込みなど、お気軽にお電話下さい。

こみに

当施設は平成9年に開設し、今年で17年目を迎えました。入所定員は一般棟100床・認知症棟86床、デイケアの定員が75名。また、居宅介護支援センターと訪問看護ステーションを併設しております。

こみにはご利用者に楽しく生活を送っていただく為に、多くのクラブ活動やイベントを企画しております。中でも夏の納涼祭と、お正月の元旦祭はご利用者・ご家族にとっても評判が良く、今年も元旦に神主さんをお招きし、ご利用者の無病息災を祈願していただきました。神主さんがお祓いをしている間、多くのご利用者が手を合わせ、祈っている姿がとても印象に残っています。

私達職員も、ご利用者の安全を願い、ご家族に安心していただけるようサービスの充実を目指し、より一層の努力を重ねていきたいと思っております。



楽 寿

当施設では、病状安定期にある方、認知症で家庭での介護が難しい方等を対象に、医師による健康管理、リハビリテーション、レクリエーション、入浴等の看護・介護サービスなど、家庭での生活を可能にするための各種サービスを提供します。特養、ケアハウス、地域包括支援センター・居宅介護支援センターをはじめとする楽寿の園高齢者総合福祉エリアの各施設や、居宅事業及び行政、医療機関等との密接な連携により、お年寄りの状態に沿った適切な介護等の調整を図ります。また、ご本人様やご家族様の相談に応じ、様々な情報を提供するとともに、退所後の万全なアフターケア体制を整えています。

また、ご利用者お一人おひとりを尊重し「その人らしい生活」が送れるよう、質の高い日々のケアに心がけております。穏やかな時の流れと温かく家庭的な雰囲気の中で、心豊かにすごしていただけるよう努力しております。



カリタス・メンテ

当施設は医療依存度が高く、重度認知症の虚弱高齢者の方々にもADLリハビリを中心とした施設ケアを多職種協働で提供しています。なお、長期入所では「最期まで経口摂取」を叶えるインフォームド・コンセントとパーソン・センタード・ケアによる終末期緩和ケアも行っています。

他方、デイケアでは通常のリハビリ以外に昨年から心肺機能低下者の方々への呼吸リハビリや集団言語体操「リズムカル体操」などの“話し言葉”の再獲得を目標とした言語リハビリを実施しています。

＜カリタス・メンテ言語リハビリ ホームページ
www.kds-jpn.co.jp/karitasu_genngoriha.htm＞

今後も地域の医療・介護施設との連携強化を図り、地域の虚弱高齢者の方々のみならずご家族にも満足していただける包括的な施設サービスの提供に邁進していきます。



ケアセンターゆうゆう

当施設は、焼津市の南部に位置し、周辺は緑豊かな自然に恵まれ、岡本石井病院を母体とし、施設入所97名、通所リハビリテーション100名の定員にて運営しております。また、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、訪問看護事業も併設しております。地域の皆さまとの結びつきを大切に、ご利用者様が楽しく生活できる施設として心通うケアを目指しております。

入所施設では、看護、介護、リハビリを必要とするご利用者様が、自立して一日も早く家庭復帰できることを目標に職員一丸となって頑張っております。

通所リハビリテーションでは、ご利用者様やご家族様のニーズや状態に合ったリハビリプログラムを計画的に実施し、自立支援のお手伝いをさせていただいております。



エコトーフ

当施設は、お茶の産地として知られSLでも有名な旧金谷町にあり、東には自然豊かな大井川が望めます。

施設定員は150名で、利用者の方々は開放感あふれる居住空間でゆったりと穏やかな日々を過ごされており、季節や月々の各種行事では明るい笑顔がいっぱいに咲き揃います。

通所リハの定員は40名。昨年は幅広いリハビリ体験の一環として、近隣の新興「金谷IC」を利用して新サービスエリアの見学と買い物を楽しみ喜んでいただきました。

また、昨年は地域包括ケアの趣旨に沿って「訪問リハビリ事業所」を開設し、地域に積極的に出向いていくことにいたしました。併設する居宅介護支援事業所の4人のケアマネとともに、できる限り地域の要望や期待に応えられるよう職員一同頑張っております。



グリーンヒルズ藤枝

当施設は、藤枝市の北部郊外に位置し瀬戸川の清流と周囲を山々に囲まれた緑豊かな自然に恵まれた中にあります。施設入所100床（短期入所療養介護を含む）、通所リハビリテーション75名定員と、居宅介護支援事業所を運営しております。

施設方針である『地域に開かれたリハビリテーションの推進』を実施するにあたり、母体である聖隷リハビリテーションとの連携を持ち、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による個別的、日常的なリハビリテーションを行い、介護・看護・多職種協働で在宅復帰を目指しております。また、市内に通所介護・訪問リハビリ事業所を設ける事でご利用者様、ご家族様のニーズに応え、今後も地域に密着した施設運営を行ってまいります。



アリス草薙

優しい言葉、思いやりある態度を大切にし、利用者の皆様の立場に立って支援します。当施設では職員の行動の指針となる『活動方針』を掲げ、毎週月曜日の朝礼では、職員一同で唱和し、意識の浸透を図っています。

4つからなる活動方針の最初に掲げられているのが、「優しい言葉」とうたう、この文です。当施設では毎年、新規高校卒業者を対象とした求人を行っています。選考に当たっては知識や技術よりも、活動方針のこの一文を実践できる人材かどうかを重視します。

これまで採用した者の多くが、高校時代に介護や福祉を専門的に学んだ経験がありません。しかし介護への前向きな姿勢と思いやりの心を持って、意欲的に日々の業務に励み、着実に知識と技術を身につけ、育っています。介護福祉士の資格を取得した者も多いです。

施設周辺の木々が芽吹くころ、こども「新しい顔」がお目見えします。その成長が楽しみです。



アポロン

当施設は今年で15年目を迎えています。在宅復帰に力を入れて、在宅復帰率35%を達成しています。在宅生活に関しても、短期入所、通所リハビリテーション、訪問看護（リハビリ）、訪問介護、居宅介護支援事業と多様なサービスにてサポートしています。

リハビリは、専門の療法士による個別訓練を始め、園芸クラブや脳活性のお達人クラブ、栄養課と協働してお料理クラブを行っており、利用者様各々生き生きと能力を発揮されています。お食事に関して管理栄養士と言語聴覚士による食形態の検討を含め、安全に経口摂取が行えるようチーム全体で取り組んでいます。デイケアでは、言語聴覚士が口腔機能向上による予防にも力を入れています。

アポロン伊太は今年で3年目を迎え、サテライト型小規模老健、認知症デイサービス、小規模多機能型居宅介護、グループホームと認知症のある方が安心して生活を送れるように支援しています。今後も地域に愛される施設を目指していきます。



はるかぜ

「はるかぜ」は、平成24年4月1日の介護報酬改定で、老健として新たに求められることとなった在宅復帰・在宅療養支援機能加算を取ることを目標として取り組んできました。24年9月に30%を超えることができました。このことは、3年前から始めた自立支援の活動—1日1500mLの水分補給・食事・排泄・運動歩行—を、こつこつと看・介護スタッフがリハビリ・管理栄養士等と連携し実践をしてきた成果の表れだと思います。また忘れてはいけないのは、家族及び利用者さんの協力の賜物だと感謝しております。

今年度も引き続き「自立支援活動」を推進してまいります。そして、一人でも多くの利用者さんの笑顔が見られるように頑張ります。

また、今年度は口腔ケアの取組みにも力を注いでまいります。地域一番の質の高い介護サービスの担い手として、施設サービス及び在宅サービスの提供を行い、家族や地域の方々・機関と一体となったケアを行っていきます。利用者さんが「おだやかに、ぬくもりのある日々を」送れるための手助けができるようサービスの向上に努めていきます。



萩の里

今年で14年目を迎える当施設は、施設入所100床、通所リハビリ85名をはじめ、短期入所療養介護・訪問看護・訪問リハビリ・居宅介護支援事業所の運営をしております。また、同法人で療養型病院・訪問介護・障害福祉サービス事業所の運営も行い、医療・介護・福祉の3本柱で総合的なケアサービスをご提供しております。更には、一昨年にデイサービス、昨年には認知症対応型デイサービスを開設し、より地域に密着し、時代の流れに沿った医療法人を目指してきました。

この他に、当施設でも日々リハビリを追究しており、今年からロボットスーツHALを導入しました。新しい試みではございますが医師、看護師、リハビリスタッフ、介護士等様々なスタッフが、利用者様の在

宅復帰及び、その後の快適な生活を送れる様、お手伝いさせていただきます。



葵の里

用宗海岸にひろがる駿河湾の雄大な景色を間近に、たわなに実をつける蜜柑山に囲まれた中に「葵の里」があります。今季も山の蜜柑の集合体が織り成す鮮やかな彩りが利用者様の心を癒してくれております。

「葵の里」も開設して13年目の春を迎えました。各医療スタッフの専門性を十分に活用した勉強会や外部研修を通して情報を共有し、連携補完し合い、自己の能力向上をめざしたことが現在のスタッフの質や技術のレベルアップにつながっております。これからもスタッフ間の協働連携を継続し、多様な行事を通してやすらぎのある生活が過ごされ満足していただけるよう努めてまいります。

またボランティアの方々の訪問等のご協力に地域のつながりを感じながら、家族とのつながりを大切に、地域に信頼され、愛される施設として医療・福祉サービスを提供し続けていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。



きよみの里

興津川の海沿いにある高台に位置し、清水の街並みや駿河湾を一望できる明るく、広々とした施設です。広大なリハビリ公園ではJA女性部や地元自治会の協力をいただきながら、季節の草花や農作物を育てており、地元の幼稚園児とともに収穫を楽しむことが出来る施設となっています。

サービス提供の内容は、入所・短期入所（ショートステイ）100床（うち認知症棟40床）、通所リハビリテーション（デイケア）定員55名、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所になります。



あみ

「あみ」は、静岡市街地から安倍街道を北へ車で約15分程の所に位置し、また賤機トンネルや新東名の新静岡インターチェンジも近く、交通アクセスも整備されて中距離の地域の皆様にもご利用いただき易くなりました。

ご利用者の方々の機能回復を目指し、医師・看護師・介護福祉士・PT・OT等が連携して、物理療法・作業療法・筋力トレーニング・歩行訓練等のリハビリを行い、一方、日常生活の食事・排泄・入浴動作などの訓練や、楽しみとして趣味活動や散歩なども一緒に行います。例えば、「季節に合わせた壁画作成」では、題材や材料を工夫し季節を感じながら、見る人が楽しめる作品作りを心掛けています。また、最近考案した「銭太鼓リハビリ」は、楽しみながら身体を動かすことを目的として、通常の「銭太鼓」と違い高齢者でも簡単に音が出せる様に筒の端に鈴を付けて音が鳴るようにしています。

地域に密着し、皆様に愛され、信頼される施設を目指しております。これからも利用者様やご家族の方に安心してご満足いただけるサービスを提供できる様、一層研鑽を積んで参りますのでよろしくお願い致します。



芙蓉の丘

6月で開設13年目を迎える芙蓉の丘は、地域や住民の方々に広く開かれ、利用者様が健やかに過ごすことができる施設を目指しています。

初夏には施設の周りに芙蓉の花が咲き、明るい光の差し込む中庭は、季節の花々や水辺の植物に囲まれ、利用者様に憩いの空間を提供しています。

季節毎にひな祭りやクリスマス会、地域との交流会等の行事を催しており、利用者様に好評です。

リハビリ面では、パワーリハビリや体操等筋力トレーニングだけでなく、計算・漢字ドリル等脳力トレーニングも行っています。芙蓉の丘は、利用者様が明るく楽しく生活できるように、身体・精神面を職員一同サポートしていきます。



さくら

島田市にある入所150床、通リハ40人／日の施設です。

さくらの花が、かたちの整った5枚の美しい均衡によって形成されているように、介護老人保健施設『さくら』もまた、5つの理念のどれひとつが欠けても成り立ちません。

私たちがめざす5つの「H」。それは結局、人の心のあたたかさであり、やさしさであり、利用者それぞれの立場になって考える想像力であり、きめ細かな思いやりであります。日々の感度をみんなで共有し合い、生きる喜びを互いに分かち合える場所でありたい…その願いを、介護老人保健施設『さくら』は一つのサービスの中で実現して行きます。

ご利用者本位の5つの「H」を大切にします。

- ・ Heart to Heart 心と心が向き合う介護
- ・ at Home 家庭的であたたかな介護
- ・ Healing 心がほっと安堵する介護
- ・ Humanity 人間愛に基づく介護
- ・ Healthy 健康をサポートする介護

コミュニティケア吉田



一般棟52名、認知症棟48名、通所リハビリ50名の施設です。利用される皆様が安心して、楽しく穏やかに過ごすことができるよう、季節の行事はもちろん、音楽療法や料理教室等々の多種多様な活動を企画・実施しております。グリーンカーテンやヒマワリ栽培をはじめとする園芸活動も、利用者の方々と職員が一緒になって、和気あいあいと取り組んでいます。

また、隣接の幼稚園や地域の方々と共同で避難訓練を行うなど、地域との活動にも積極的に取り組んでいます。

これからも、利用者の方々が楽しく穏やかに過ごすことができるとともに、地域の方々と協力して支え合うことができるよう、努めてまいります。

フォレスタ藤枝

当施設では「信頼・安心できる思いやりのある医療・福祉環境づくり」を理念に掲げ、手厚く細やかな介護、充実したリハビリテーションを目標としています。リハビリについては、利用者様の心身機能の維持回復はもちろんのこと、一人ひとりに適したプログラムを組むなど個別重視の訓練を提供しています。

その他、季節に合った様々な行事を行っています。8月には駿府夏祭りを開催し、地域ボランティアの皆様のご協力のもと、大道芸、和太鼓、学生吹奏楽などの催し、夜店を多数並べて盛大に行っています。皆様是非お越し下さい。



マインド

マインドは平成15年11月に開設し、平成25年の今年、10周年となる、入所者150名（一般棟102名、認知症専門棟48名）、通所リハビリ40名の施設です。

心の通い合える温かみのある介護施設を目指して、多職種の職員が協働、連携して、ご利用者の多様なニーズに応えられるよう日々努力を重ねています。

毎月開催するお誕生日会や地域のボランティアの皆様方にもご協力をいただき、季節感の感じられる様々な催し物を提供する中で、毎日楽しく和やかに過ごしていただいております。

これからも、家庭的で安心して生活できる環境づくりを心がけ、地域に根差した施設となるよう努めてまいります。



ケアセンター池田の街

「ケアセンター池田の街」は静岡市の中央に位置する東静岡地区に平成17年4月に開設した入所定員110名・通所リハビリテーション定員40名の施設です。

四季を通じ様々な花が咲く屋上庭園や窓から見える富士山や日本平の眺望など、交通至便な街中にありながらも、喧騒を忘れ穏やかに癒される“都市型”老健施設です。

ご利用者様には、笑顔のたえない明るい雰囲気の中で、活力と安心を感じられる日々を過ごして頂くため、生活状況に沿ったリハビリを重視し、季節の行事や各種のイベントなど楽しみながら心身機能の維持向上を図って頂ける様、配慮しております。

「やさしさで支えたい、守りたい」の理念のもと、常にご利用者様の視点に立った温もりあるケアの提供を目指し、一層の努力を重ねて行きたいと考えております。



かりん

介護老人保健施設かりんは、静岡市駿河区宇津ノ谷峠の山々に囲まれた緑豊かな環境の中にあり、入所100床、通所リハビリテーション40名のサービスを提供しております。当施設では、人の心の温かさ、優しさ、利用者みなさまの立場になって考える想像力、きめ細やかな思いやりを施設の最も大切な理念と考え、日々の看・介護を行っております。

リハビリテーションも積極的に行っていて、専門の理学療法士や作業療法士が、一人ひとりの状態にあわせて、その人らしい尊厳をもった生活が行えるように個別にリハビリを行っています。

また、利用者様の身体状況のみならず、楽しく日々を過ごせるように、料理クラブや、喫茶クラブ、音楽クラブなどみんなで楽しめる行事も行っています。

これからも、利用者様一人ひとりの笑顔を大切に、職員一同努力していきたいと考えています。



ユニケア岡部



「ユニケア」の名の由来は、ユニークなケア、ユニットケア、ユニ（uni）＝唯一のケアを合わせた造語です。医療とリハビリはもちろん、ケア（介護）＝「生活」を大切にしたいという気持ちが込められています。

当施設は長期・短期合わせて100床。全部屋個室で、8つの生活の場を作り、ユニットケアを行っています。法人理念の

- ・人権尊重は丁寧な言葉から
- ・安心提供はゆったりから
- ・生きる喜びは笑顔から

をケア目標とし、家庭のような居場所があり、数多くの希望（こだわり）が叶えられるように日々の生活をサポートしています。

また、地域に根付いた施設を目指し、在宅に戻る事が難しい方に対しても、生れ育った地域で最期を迎えらるよう、ターミナルにも積極的に取り組んでいます。安心して生活ができる場所であり続けられるように、多職種が協力して日々努力しています。



鶴舞乃城

清水区庵原町の小高い山の中腹、傾斜地に位置し、駿河湾が正面に望め、穏やかな農地で緑に囲まれた場所に鶴舞乃城がございます。

玄関は、木造ポーチを設け誰でも、もてなしの心でお出迎えいたします。その方らしい生活習慣やこだわりを大切に、お一人おひとりの状態や目標に合わせたケアを行います。年齢を重ねれば誰にでも起こりうる、心や身体の機能障害を個性ととらえ、ご本人様はもちろんご家族のみなさまに安心していただけるような介護を目指しています。



西山ウエルケア

西山病院グループの西山ウエルケアは平成元年に開設いたしました。西山病院グループは梅雨明けの8月初旬に夏祭りが盛大に催されます。祭り当日は事務職員も含め総出で夏祭り用Tシャツに着替え一丸となって祭りを盛り上げます。会場には昔懐かしの縁日風屋台が立ち並び、食べやすく調理された品々が入所者様や地域の皆様にも用意されます。特設ステージではこの日の為に練習された患者様、ボランティアさん、職員による歌や踊りなどが披露されます。夜には打ち上げ花火で患者様をはじめそのご家族や近隣の方々、大勢が集い夜空を眺めます。今では近隣の方のみならずそのご親戚まで多くの方に心待ちにいただける催しとなりました。いつまでも地域と共に。これからも患者様や利用者様の笑顔の為に努力を積み重ねてまいります。



エスコートタウン静清

医療法人アール・アンド・オーグループのエスコートタウン静清は、現在120床で運営しています。寄り添うケアと急がなくてもいい、ゆっくりとしたいことができる環境を提供しています。リハビリ病院グループの中で老健として充実したリハビリを提供しており、通所リハビリ、訪問リハビリにも繋がり在宅復帰への架け橋となっています。

今年度、「身体拘束ゼロ宣言」を行い、利用者様の人権を尊重したケアに努めています。季節を感じるイベントも積極的に行っており、今年も納涼祭では、出店でお好きなものを買って召し上がり、花火を見ながら夏の一夜をご家族と共に楽しんで頂きました。他にも毎日のアロマセラピーの実施、アクティビティー専任者による毎日のレクリエーション等が行われています。又、ボランティア：デュオ・メロマネによるバイオリン演奏や地域の25名の小学生が見学訪問し風船バレー、折紙、歌、肩マッサージ等、利用者様とふれあい楽しいひと時を過ごしました。

今後も利用者様と家族、地域との繋がりを大切に、温かみのある老人保健施設を目指します。



みっかび東介護老人保健施設

浜名湖を望み、山々に囲まれた温暖な気候に恵まれた三ケ日の自然の環境の中、安心して暮らせる療養環境を、私たち職員一同、真心込めてご提供させていただきます。

当施設のマottoは利用者様に快適で気持ち良く暮らすことのできる環境の提供であり、その為に「明るく・清潔に」を合言葉とし、日々サービスの提供をさせて頂いてます。また、在宅生活をサポートする通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、診療所も併設し、地域福祉ニーズに幅広く対応できる施設であるよう、常に努力しています。

今後も福祉の拠点になるよう頑張っていきます。



三方原ベテルホーム

法人理念の「隣人愛」に則り、地域社会の施設として福祉・医療・保健の総合化力をもって、在宅復帰・在宅生活支援施設としての役割を担っていくことを目指しています。利用者の「生きよう」という意欲を育み、個人として尊重され、それぞれの持てる能力を活かした自立を、そして、快適に生活できる場を提供します。聖隷三方原病院併設施設のため、緊急時の医療的支援や専門性の高いリハビリテーション実施など利用者一人ひとりに応じた質の高い医療・介護サービスの提供が可能です。特に生活に即したリハビリテーションを推進することで、長期間の機能維持・改善を目的として地域における在宅生活を支援しています。



なかよし

介護老人保健施設なかよしは、平成6年に開設し今年で19年目を迎えます。入所50床、通所リハビリテーション40名の施設です。豊田えいせい病院が併設しており、病状、状態の変化などに適切で迅速な対応が可能です。

なかよしの由来は、若い人も老いた人も男性も女性もみんななかよし。地域のふれあいを大切にみんなが笑顔でつながり、なかよく暮らせる施設を目指して名付けられました。

当施設は、名前の由来の通り、職員と利用者様と一緒に、夏祭りやクリスマス、新年会といった季節の行事を行っています。利用者様は積極的に参加されており、職員の仮装を見て笑い声をあげ優しい笑顔を見せてくれます。また地域のボランティアの方々も訪問して下さいますし在宅復帰される入所者様もいらっしゃいます。



今後も利用者様の笑顔を絶やさなよう職員一同努力していきます。

都ケアセンター

都ケアセンターは、浜松市北区都田町の緑豊かな自然に囲まれた中に立地しています。

平成24年4月1日より、併設施設の政本病院（療養病床）が介護老人保健施設へ転換を行い、定員が入所405名、通所リハビリ20名となりました。

幅広い利用者の対応をしており、利用者の希望により、ターミナルケアも積極的に行ってまいります。リハビリテーションにおいてもパワーリハビリ機器



を導入し、より充実した個別リハビリを提供できるように努力しております。

今後も職員一同利用者様本位の介護サービスを心掛け「その人に最も適した介護」を実践していきたいと思っております。

ハイマート有玉

「人は第一印象が大事」と言われますが施設の第一印象といえば玄関、受付といったところでしょうか。最近はホームページもいつでもどこでも見られるので施設の利用情報だけではなく皆様に当施設の日常の様子を知っていただく大事な要素と考えます。

昨年当施設はホームページを全面的に新しくして提供しているサービスの内容や利用者様の生活を紹介しています。老健はもちろん通所リハビリ、居宅支援事業所等、また法人内の病院、訪問看護等情報が満載です。

最新の話題も見られますのでどうぞ当施設のホームページにお越しください。職員一同お待ちしております。



エーデルワイス

当施設は、平成19年4月より政令指定都市となった浜松市の北部にあります。国道152号線沿いで、近くに大型ショッピングセンターが2つもあり、浜松市中心街より車で約30分たらずの交通至便な場所にありながら緑に囲まれた田園の中に位置します。

施設の規模は、入所145床、短期入所5床、通所リハビリ定員1日60名で運営しております。また指定居宅介護支援事業所として担当ケアマネージャーが在宅サービスを希望されている方々の相談にのり、関係機関と密に連携をとりながらケアプランを作成し、サービス調整等を行なっております。

建物の前方には広々とした回廊式の車椅子通路に囲まれた庭園、ふれあい動物園、ミニ果樹園があり、入所者及び通所者のレクリエーション活動や憩いの場として利用されております。

また、当施設より徒歩1～2分のところには協力病院があり、当利用者様の力強い支援をしております。



入野ケアセンター

当施設は佐鳴湖の南側に面した雄踏バイパス沿いに位置し浜松市中心街から車で約10分ほどの交通利便性のよい街場の介護老人保健施設です。

「施設入所」をはじめ「短期入所」、「通所リハ」、「訪問介護・看護」、「居宅介護支援事業所」を併設しており、リハビリを中心に



利用者様のニーズに応じてサービスを提供しております。

併せて湖東病院、和恵会記念病院とグループ内に介護療養型医療施設も併設しており、利用者様一人一人に応じた質の高い医療・介護サービスの提供が可能になっております。

H24年4月より、新たに80床が増床され、230床の介護老人保健施設として運営をしております。

地域に根付いたサービスがこれまで以上に住民の方々に提供できるよう、スタッフ一同が「親切・丁寧・平等」を心掛け、日々の業務にあたっていくしたいと思います。



白梅ケアホーム

白梅ケアホームは浜松市の西部に位置し、浜名湖を一望できる高台にあります。緑豊かな環境は心を和ませてくれます。穏かな日には、リハビリ公園や東屋でのんびりとした時間を過ごすことができ、陽当たりの良いリハビリ訓練室から見える梅の木には、春になると、メジロや鶯等の野鳥も目にするができます。

当施設の栄養課ではご利用様が楽しみにされているセレクトメニューを考案しています。主菜セレクトとおやつセレクトの毎月2回行っており、人気の高いメニューはうなぎや刺身、お寿司など。自然と会話が広がり、笑顔がこぼれる楽しい食事の時間となります。新メニューや特別メニューも加え、利用様が自分で選ぶ喜びや、食べる楽しみを味わっていただけるようこれからも食材を十分吟味し、サービスの向上に努めてまいります。



エバーグリーン掛川

エバーグリーン掛川では、季節の行事として、さつま芋の植付けから収穫までの作業を毎年行っています。

職員は畑仕事に慣れていませんが、利用者様からたくさん良いアドバイスをいただき、年を重ねることにrippなさつま芋が収穫できるようになりました。

この畑作業は利用者様にとっては、回想法にもつながると思います。また収穫されたさつま芋は、美食サービス委員会が手作りおやつの食材として採用し、温かなそして家庭的な手づくりデザートとしてとても人気があります。

今年で開設17年となりましたが、これからも“一人一人”にあったニーズに応え、ご家族様にも喜んでいただける、質の高いケアを心がけ、心のこもったサービスの提供に日々努力を重ねていきたいと思っています。



於保老健センター

当施設は、平成8年4月に開設し、今年で18年目を迎えます。磐田市南部、旧福田町に位置し、入所定員80名（内、認知症専門棟30名）、通所リハビリ定員20名で運営されています。

昨年、初めての試みでしたが、利用者さん監修の下、梅干や梅酒、干柿などをみんなで作ってみました。みんなで収穫に出掛け、とても真剣な顔つきで作業し、出来上がりをまだかまだかと楽しんで過ごしました。そして美味しくいただきました。

昔からのなじみある、季節感たっぷりのこういった作業をこれからもなるべく取り入れていきたいと思いました。

皆さんの笑顔は、私たちの仕事への活力になります。もっともっと笑顔で溢れる施設にしていけるよう努めていきたいと思っています。



おおふじ五幸ホーム

開設15年目を迎えるおおふじ五幸ホームは、磐田市立総合病院が近く、病院間の連携も重点的に行っております。利用者様の病状、状態の変化には、適切で迅速な対応を行い、安心して生活できる施設を目指しております。

当施設は、自然豊かな場所に位置していることもあり、春のお花見や、秋の紅葉など季節を感じられる行事が毎年恒例であり、利用者様から大変好評を頂いております。

その他、日々のレクリエーションでは、職員が知恵を絞って考えた、バリエーション豊富なゲームや体操に、大いに盛り上がり、明るい笑い声が響き渡っています。利用者様と共に感動を味わうことで、信頼関係を築き、よりよいケアに繋げていけるよう取り組んでいます。

今後も充実したサービス提供に努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



さいわい

天竜厚生会さいわいは、緑豊かな浜松市の北部に位置し開設16年目を迎えます。

入所定員117名、短期入所定員10名、施設内に通所リハビリテーションがあり、それぞれのご利用者のニーズに合わせたサービスを提供させていただいております。

施設では季節ごとの行事を設け、春は花祭り、夏は納涼祭、花火大会、秋は運動会、冬は豆まき等を開催して四季折々の行事を楽しんでいます。

また、自分たちで野菜を育てており、ご飯のおかずに添えて季節の野菜を味わっております。他にもお菓子作りや夕飯作りなど、在宅に居た時の習慣を活かせるようなサービスを提供できるよう工夫しています。



神子の園

掛川駅の北東約3kmに位置する当施設は、平成11年4月に開設し、今年で15年目を迎えます。定員は入所100名（うち認知症専門棟50名）通所60名です。また地域密着型事業としてグループホームと認知症デイサービスセンターを併設しています。

当施設では、季節感を大切にした各種行事、レクリエーション、散歩、食事、音楽療法等に力を入れており、利用者様の表情も明るく豊かになっています。リハビリテーションにおいてもパワーリハビリを導入し、機能回復や維持に努めています。

今後も全職員一丸となって、明るく活気があり安心して利用して頂ける施設を目指し努力していきたいと思ひます。



さくらの苑

JR磐田駅南口より徒歩10分、野鳥が多く生息する大池の近くに当施設はあります。今年開設15年目を迎え、開設と同時に施設の周りに植えられた桜の木は、今では見上げる程の大きさとなり毎年春になると満開の桜が咲き誇ります。

入所100床、通所39名、居宅介護支援事業所を設け、自立支援と在宅復帰を目指しご利用者様のニーズに合った看護、介護、リハビリの提供を行っています。明るく充足された療養生活を送っていただくために、季節に合わせた行事を始め、誕生会、散歩や遠足、お寿司バイキング等職員一丸となって取り組んでいます。また、近隣地域との交流も積極的に行っており、幼稚園児や小中学生、地域のボランティアの方々の慰問や援助活動がご利用者様の大きな楽しみでもあります。

今後も明るく活があり、ご利用者様やご家族様のニーズに対応する適切なケア・サービスを提供できる施設を目指していきたいです。



まんさくの里

静岡県の最西端に位置する当施設は、平成13年4月1日に開設、今年の春で13年目を迎えます。定員は短期含む入所100名、通所は地域の皆様の要望も頂き平成25年2月より40名(10名増)としました。

現在PT5名・OT2名体制で、在宅復帰に向けた自立支援、機能回復や機能維持、認知症対応のリハビリを提供しています。また、先生を迎え俳句や習字、カラオケ等のクラブ活動を通し利用者様の趣味や特技を活かして頂いています。季節行事や年4回のバイキング、野外活動を行い、季節や社会とのつながりを感じて頂けるよう努めています。

今後も利用者様、ご家族様の笑顔を引き出し、地域と共に歩んでいけるよう職員一層の努力をしています。



袋井ケアセンター

袋井ケアセンターは、袋井市北部・天竜浜名湖線遠江一宮駅に近い萱間の山腹に位置する所にあります。

当施設の特徴として地域との交流が盛んです。季節の節目ごとにボランティアの方々による演芸・カラオケ大会があり、地元萱間自治会による秋祭り、神輿が施設内で練りをしてくれます。近くの小中学生の訪問による交流があり入所者の方も楽しみにしています。

もう一つの特徴として、看護・介護・個別リハビリ・口腔ケア・レクリエーションに利用者様の生活支援を職員一丸となって取り組んでいます。



花平ケアセンター

浜松市北区引佐町に位置する当施設は、緑あふれ、のどかな環境にあります。春先には花桃が咲き誇り、芍薬やほおずき等季節の花が盛んに栽培され私達の目を楽しませてくれます。開設して今年の4月で11年目を迎え増々ご利用者様や地域の皆様に愛される施設としてホスピタリティ向上に努めて参ります。

現在当施設で取り組んでいる特色として、管理栄養士と厨房調理師が中心となり季節の食事やおやつを提供する際にご利用者様の前で調理の実演を行っています。出来上がるまでの段階も目(作っている風景を見る)や、耳(ジュージューと焼ける音を聞く)や鼻(香ばしい香りを嗅ぐ)で楽しんでいただこうと考えています。ご利用者様の状態によって食形態は多岐に渡っている為、メニュー作りには苦労していますが、喜ばれている姿を見ると取り組んで良かったという充足感で満たされます。

今後もご利用者様に楽しんでいただける内容を企画して参ります。



はまおか

ゆったりとした居住スペース、充実した設備で、総合的なケアサービスを提供します。

また、医師、看護師、ケアワーカー、理学・作業療法士、支援相談員、管理栄養士、薬剤師が一体となって、入所者の家庭復帰のために日常生活の自立を目指して支援します。

施設見学、入所のご相談はご利用相談室までお問い合わせ下さい。

☆ご利用相談室

Tel.0537-86-8822

みかたはら介護老人保健施設

当施設は平成19年2月1日に東医会として開設し7年目を迎えました。浜松西インターより車で10分ほどの交通利便性のよい三方原町の文教地区に位置しております。

当施設は、高齢者やその家族など利用者が過ごし易く、また質の高い介護サービスの提供を心がけております。在宅ケア支援の拠点となる事を目指して、利用者やご家族の皆様が、快適に自分らしい日常生活を送れるように支援し、その地域に、開設した施設として、利用者の希望にきめ細かく応えられる施設を目指しています。



白脇ケアセンター

近くを馬込川が流れ自然に富み、工業・商業も盛んな白脇地区に位置する当施設は、開設から10年を超え、より一層利用者様に寄り添ったケアの提供を心がけています。

リハビリテーションは入所・通所・ショートステイにおいて、個別訓練を重視し、理学療法士・作業療法士がその方らしい生活の実現や自立生活の支援を進めています。また、園芸活動や裁縫活動など利用者様の興味のある活動も行い、達成感や季節感を感じて頂くことで心の充実も図っています。

これからも親切・丁寧・平等の理念のもと地域に根ざした、皆様から信頼されるサービス提供を続けていくことができるよう努力してまいります。



天王介護老人保健施設

天王介護老人保健施設は、天王病院（認知症専門病院）開設当初から「心と心のふれあい」、「親切と信頼の医療」を礎に今日まで信頼と実績を生かして平成15年8月に開設しました。



入所定員100床（全認知症専門棟、全個室）、通所リハビリテーション定員40名で運営しております。

各個室には障子の窓を配置するなど和の雰囲気を漂わせ、全個室化により入居された皆さん個人の主体性を尊重する事ができ、規則正しいリズムある生活を送ることによって、本来のご自分を取り戻す、そんなハード



面での環境の提供もしています。

季節に合わせた行事「お花見」や「クリスマス会」、「餅つき大会」を行っており、年中行事として「お祭り」も行っています。

ケアセンター 芳川

当施設は、開設10年が経過し、地域住民の皆様方との交流も深まり、多くの方々にご利用頂いております。

1階は、開放的で明るく、広々とした機能訓練室の通所リハビリテーション部、2階3階は、家庭的な雰囲気や大切にした、ユニットケアが好評の入所部となっています。通所リハビリテーションでは、利用者様1人ひとりの生活目標に合わせた機能訓練を始め、利用者様が自分の好みや興味を持った活動に自主的に取り組んで頂ける様、選択性での作業やレクリエーションを行っています。又、年2回、気候の良い時期には、屋外歩行訓練を実施し、普段の訓練が実用的に行える様な取り組みも行っています。

今後も、利用者様が自分らしく、生き生きとした在宅生活が送れる様、職員一同日々努力を重ねてより良いサービスが提供できる様、頑張りたいと思います。



風の杜

風の杜がある森町の人たちは、祭り好きです。3月の石松祭り・4月の桜祭り・6月のあじさい祭り・7月の天王祭・9月の萩祭り・10月の秋祭り・11月の遠州森の祭りなど、季節ごとに何処かで祭りが行われています。

特に遠州森の祭りが有名で、豪華絢爛な彫刻を施した二輪屋台の引き回しや、若者の間での激しい練りは圧巻です。最終日の夜に行われる“舞児還し(まいこがえし)”は、神に仕えた舞児を地面に足を着けることなく、屋台で自宅まで丁重に送り届けるという独特な儀式です。3日間の祭り期間中は多くの見物客が訪れ、大変な盛り上がりようです。

風の杜のご利用者様も職員も森町の方が多く、皆さん元気いっぱい施設は活気に満ち溢れています。森の祭りの見物の際は、風の杜にもお立ち寄り下さい。お待ちしております。



あおばケアガーデン

「和顔愛語」優しいところ優しいことばを合言葉に掲げ、あおばケアガーデンは開設10年目の節目の年になります。明るい施設ですね!と地域の方から声をいただくようになり“明るいあおば”も定着してまいりました。接遇委員会が発足したのが4年前。少しでも利用者様に喜んでいただけるよう日々努力しています。2年前より、利用者様の立場に立った介護を提供するために“1日を利用者様と生活を共にする”福祉疑似体験を全職員に実施しています。実際に障害のある感覚・気持ちを体験したり抑制等してはいけない介護を体験することで、利用者様の気持ちを理解し自分が行なう介護に生かしてもらうことを目的としています。また、一日疑似体験を通しての職員の対応や施設の環境等を評価し、その結果をサービス向上に生かしています。

季節に合わせた行事も益々活発になり、より利用者様の参加型で行っています。10年目の新たなスタートを利用者様の笑顔を力に変え、より良いサービスに努めてまいります。



白梅豊岡ケアホーム

白梅豊岡ケアホームは、磐田市北部に位置し、平成18年の開設から今年で8年目を迎えます。施設の前には田んぼが広がり緑豊かな土地にあります。

入所施設は定員100名(うち認知症専門棟45名)です。昼食前の恒例になりました「白梅ハリモリ体操」では、ハリのある生活でモリモリ食事が食べられるよう、身体、口腔、頭の体操を行っています。また、毎月季節に合った文字を題材にした書道では、書道展も開催しています。



通所リハビリは定員8名です。9:30~11:00、14:00~15:30の時間帯で機能訓練専用のマシンを使用したパワーリハビリを行っています。食事や入浴のサービスは含まれず、専門の理学療法士が個人のニーズに合わせたリハビリを提供しています。

今後も、ご利用者様にとって過ごしやすい施設となるため、職員一同努めてまいります。

さわだの庄

当施設は、ご家族や地域の皆様からの多大なご支援、ご協力を賜りまして、開設8年目を迎えることが出来ました。



平成24年7月には、利用者様やご家族様からの希望もあり、通所リハビリテーションの土曜日の営業を開始し、より皆様に満足して頂いています。

さわだの庄では、利用者様の生活機能の維持・向上を支援し、生活訓練を中心としたリハビリテーションを実施するなど、安心で質の高いサービスの提供を行っています。中でも日替わりでメニューのかわるレクリエーションは好評で、スタッフは、利用者様により楽しんで頂けるよう日々工夫を凝らしています。



今後も基本理念の遵守と、施設の開放・地域との融合を意識した施設づくりを目指し、一層の努力を重ねていきたいと考えております。

五 洋 の 里

五洋の里は平成18年の開設から8年目を迎えます。現在、入所定員90名・通所定員40名の施設です。

下の写真は昨年10月に行われた「掛塚屋台祭り」の際、地元の皆様により豪華絢爛な屋台とともに、玄関前にてお囃子や練りを披露して頂いた時のものです。このお祭りは大変歴史も古く、屋台は町指定有形民族文化財に指定されているそうです。ご利用者様は間近で見る屋台や、太鼓・笛によるお囃子を大変喜んでいらっしゃり、毎年来て頂くのを楽しみにされています。

今後も地域やご家族様とのつながりを大切にしながら、皆様に信頼される施設となるよう努めて参りたいと思います。



ナーシングホームオンフルール

平成18年にオープンした当施設は、JR袋井駅に近く静かな環境の中にあります。

笑顔とやさしさで支えあい、これまで多くのご利用者の方々に医療と看護、介護とリハビリテーションや相談業務などを通して多くの方々に親しまれ喜ばれてきました。

常に明るい笑顔で接し、お互いの信頼の中で安心、安全な日々を満喫していただくよう心配りに努めています。

“オンフルール”は、フランスの美しい港町から名付けられたもので、人生の安らぎと潤いを求めて寄港していただき、素晴らしい環境の中ですごされ、やがて身体機能を回復され、お元気になられ、次なる航路をめざして出航していただくことを願っております。



あ ら た ま

介護老人保健施設あらたまは、平成18年9月に開設し、この秋で8年目を迎えることになります。昨年地域交流室を立ちあげ、美容ボランティア、囲碁教室、絵手紙、お茶会や地域の中学校、小学校、幼稚園との交流も盛んで、地域の皆様に支えられています。去年は新東名が浜松地区内開通し、交通の便も良くなりました。老健ではありますが、入所が長期化しがちな入所者様に少しでも施設外での関わりを持っていただけるよう、外出支援にも努めており、入所者様の日々の笑顔を大切にしていきたいと思います。



長 鶴 の 郷

平成25年度で開設7年目を迎えました。当施設では、ご希望のあるご利用者様には積極的に在宅復帰を支援しています。相談員はご家族への支援、リハビリ職は環境評価や介助方法の検討、看・介護職は在宅生活上の留意点、介助方法の伝達を中心に行っています。デイ居宅職員は季節にあったレクリエーションときめ細やかな介護に力を入れておりご満足いただけるよう取り組んでいます。在宅での生活がより充実したものとなるよう多職種協力して支援しています。また、23年6月より訪問リハビリを始めました。その他終末期の看・介護やご家族様とご利用者様の距離が離れないよう家族介護教室、家族会、ご家族様が施設(面会)に足を運びやすい環境づくりを心がけ取り組んでいます。まだまだ不十分ですが老健としての役割を果

せるようこれからも頑張ります。



クロヤナギ介護老人保健施設

クロヤナギ介護老人保健施設は、平成21年8月1日に開設しました。

当施設は、三ヶ日インターから西へ車で3分程の距離に位置し、浜名湖を望み、山々に囲まれた温暖な気候に恵まれた三ヶ日の自然の環境の中、安心して暮らせる療養環境を、私たち職員一同、真心込めてご提供させていただきます。

施設の主な役割・特徴などは、従来からある「介護療養型医療施設」の機能を踏襲しており、主に医療ニーズの高い利用者様が多い施設です。また、在宅生活をサポートする通所リハビリテーション、診療所が併設されており、地域福祉・医療ニーズに幅広く対応できる施設であるよう、常に努力しています。

今後も福祉・医療の拠点になるよう頑張っていきます。



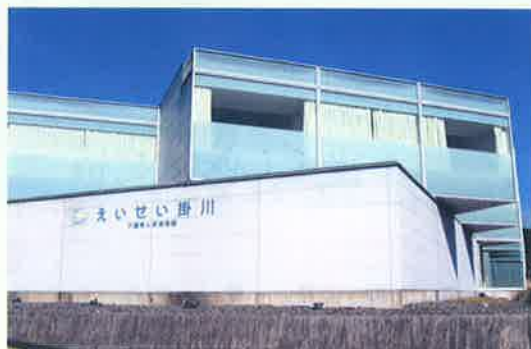
えいせい掛川

えいせい掛川介護老人保健施設は、掛川城より北へ約6kmの自然豊かな地に位置しています。平成19年に開設し7年目を迎えることとなりました。

定員は入所100名、通所40名です。当施設では、温泉設備を伴っており、足湯を御利用者様に楽しんでもらってます。

当法人の三原則である「創意・誠意・熱意」を実践し、御利用者様の方々との心のふれあいを大切にしています。

今後も、御利用者様、御家族様、地域の皆様との繋がりを大切に、温かみのあるケアを心掛けていきます。



鹿島の郷

介護老人保健施設「鹿島の郷」は近くには天竜川が流れ、夏には屋上から鹿島の花火が見える場所に位置しております。

鹿島の郷の入所定員は（短期入所療養介護含む）100名、通所リハビリテーション定員30名です。

1階フロアーには利用者様がご利用いただける足湯や、最新の加圧式リハビリテーション器具を揃え、入所者様が楽しんで自立に向けたリハビリテーションを行える環境を整えております。

また、2階と3階の入所フロアーでは季節に応じた行事や施設内の装飾を行うことにより施設の中においても季節を感じる事の出来る施設作りを行っています。そして豊富なレクリエーションを考案し提供させていただく事により入所者様が笑顔で活力のある自立した生活を送れるように努めております。

介護老人保健施設の本来の姿である、ご利用者様の自立に向けた支援を理念として、より良い介護老人保健施設を創っていただけるようにスタッフがー丸となり努力していきますので宜しくお願い致します。



健施設を紹介します。



富士中央ケアセンター 富士市

平成25年3月1日にオープンした入所100床とデイケア（リベルタ：スペイン語で『自由』）30床の施設です。

「老健らしくない老健」をと、施設内外にタイルやオブジェを使用しました。

まだまだ試行錯誤の日々ですが、在宅復帰を目指した施設を目標に介護、看護、リハビリ、地域連携の頼もしいスタッフが明るく利用者様に接しています。

デイケア、居室や食堂からは目の前に富士山。雄大で美しい富士山が優しく、厳しく施設を見守ってくれています。



星のしずく 静岡市

介護老人保健施設「星のしずく」は、平成24年5月に静岡市葵区城北に開設し、入所100名（ショート含）、通所リハビリテーション20名を運営しています。「小さな輝き集まる笑顔」をイメージとした全室個室のユニット型施設で、門をくぐると中庭が広がり、1階フロアは白を基調とした明るく爽やかな空間、2階フロアはモダンでシックな空間、3階フロアは和風の落ち着いた空間と、趣きの異なる個性豊かなフロアでお寛ぎいただけます。

「選ばない、断らない、見届ける」を目指します。人間は誰しも年をとる、生きていけば病気や障害も持つこともあるでしょう。私たちは「いろいろなあ

ったけど、

ここであな

たと出会っ

たことは本

当に良かつ

たよ」とお

客様から言

っていただ

けるよう、

私たちの目

指す介護を精一杯行

く私たちはこんなケアを

■ゆつくりの排泄

■気持ちのいい入浴

■おいしい食事

■行動制限ゼロ

■穏やかなターミナルケア

一つの名前を持った人としてお看取り致します。



リハビリパーク駿府 静岡市

徳川家康が隠居の地として選び往年を過ごした駿府城、江戸時代には江戸を凌ぐ政治・経済・文化の中心として繁栄した地でもあります。その駿府城跡地の北西に位置し、JR静岡駅からバスで10分と交通の便が良い市街地に立地する入所定員100床の介護老人保健施設です。

歴史と近代化の融合した環境の中で、ご利用者様個々のニーズに合わせた完全個室ユニットケアのサービスを提供し、高齢者の方々を中心とした皆様方への支援を行ってまいります。

通所リハビリテーションは、6時間以上8時間未満を中心に、ご希望に合わせた短時間のサービスの提供、また、要支援の方への介護予防通所リハビリテーションも提供してまいります。

高齢者介護、それは来るべき豊かな福祉社会のなかで今後いっそう重要な位置づけとして、その役割を担う存在です。

ここでは、リハビリテーション医学に基づいた専門技術と心のこもった質の高い介護を通じて、高齢者に豊かで「生きがいのある生活」を提供してまいります。そして、このような施設がご利用者様にとっての「理想郷」であることをイメージし、これを「リハビリパーク」と名づけました。





市内の新設介護老人保

白梅県居ケアホーム 浜松市

当施設は、平成24年4月に開設した入所定員100名（短期入所療養介護含む）通所リハビリテーション定員40名の介護老人保健施設です。

浜松市の中心部に立地しており、交通の利便性も良く、多くのご家族様が面会に来所してくださっています。

入所のフロアは、2階、3階となっております。2階は一般棟として60床、3階は認知症専門棟として40床で対応しております。

施設コンセプトとして、開設当初より、医療依存度の高い利用者様の受け入れを目指していますので、特に2階フロアでは老健施設で可能な限りの医療の提供を心掛けております。

3階フロアでは、日差しがたっぷり入る広々としたホールの中で、利用者様は、レクリエーションなどを行いながら、ゆったりとした時間を過ごされております。

入所、通所共に、施設生活を送られていても、季節感を感じられる行事を開催したり、充実したりハビリテーションなどを行うことによって、利用者様に笑顔で生活を送っていただくことを目指し、また利用者様一人一人の「尊厳を守る」ということを職員一同の理念として支援に努めております。

開設以来、各方面から高い評価をいただいておりますが、今後も地域の皆様の期待に応えるべく、高機能な介護老人保健施設を目指し、地域の高齢医療・介護の中核になりたいと思っております。



はるのケアセンター 浜松市

平成24年4月に、浜松市天竜区春野町に開設した「はるのケアセンター」です。気田川の清流に沿った山あいの小さな町、気田のほぼ中央に建設されました。周囲を見渡すと、四方を山に囲まれ空、雲、山の美しさと、天候による景色の変化に目をみはります。森林産業が盛んな頃の気田営林署のあと地で、樹齢百年余のもちの木が、空に向かって大きく枝を広げています。豊かな自然の中で、当施設理念である「より添う介護」を目指しています。

定員は、短期入所療養介護を含め60床の老健と、15名定員の通所リハビリテーションの事業を行っています。同建物内に、もちの木診療所が併設されており、一般内科の診療を行っています。

2階が入所のスペースで居室は色とりどりの四季の花の名前にしてあり、やさしさの中でくつろいでいただけます。日々の生活の中で大自然と季節の流れを感じられる行事を計画しています。

リハビリは園芸療法を取り入れ、花や野菜をプランタや隣の畑で育てています。とれた野菜をおやつや食材にとり入れて楽しむこともあります。

ご利用者が、どの職種スタッフも気軽にたよりにしてもらえるよう、事務職も同じユニホームを着用して、入所者と一緒に屋外散歩などを楽しんでいます。

入所、通所のご利用者によるこんでいただき、また地域の人々に、はるのケアセンターの介護を受け入れていただけるようスタッフ一丸となって努めていきます。どうぞよろしくお願い致します。



八幡の森 浜松市

介護老人保健施設「八幡の森」は旧「すずかけの街」を継承し、平成24年11月に開設いたしました。入所定員100名（短期入所療養介護含む）、通所リハビリテーション定員30名です。

「利用者様が安心して暮らせる施設」「ご家族が安心して任せられる施設」「職員が安心して働ける施設」を法人理念とし、入所している皆様が、個人として存在していることをいつも心に覚え、それぞれの方が歩んで来た人生に関わらせていただき、ご家族との連携を大切にしながら、日々の生活にささやかな彩りを添えることができればと願っています。

浜松市の中心部に位置し、遠州鉄道八幡駅より徒歩3分の場所にあります。

都市型老健として、面会がしやすく、ご家族やご友人との関係も維持していきながら、孤独感を感じることなく安心して生活していただける環境となっています。

あたたかい親しみのあるふれあいと、秩序ある枠組みの中で、より良い介護をお届けできるように、スタッフ一同、心を合わせて頑張りますので宜しくお願いいたします。

開設したばかりですが地域に根ざした施設を目標に努めてまいります。



全体研修会



子等、大変貴重な講演を聴くことができました。実際の写真を見る

事により被害の大きさや悲惨さを感じ、改めて、防災に対する意識付けをすることができたと思います。静岡県においても東海大震災が避けて通れない問題となっており、防災対策は必須となります。会場からも多くの質問や意見があり、有意義な時間となりました。地域のおかれている状況もありますが、各施設問題点の改善や、更なる防災対策の参考になればと考えています。



平成24年9月10日、もくせい会館の富士ホールにて平成24年度全体研修会が開催されました。「高齢者施設における危機管理について」をテーマとし、42施設65名の参加を頂きました。静岡県危機管理部 岩田孝仁危機報道監を講師としてお招きし、阪神・淡路大震災や東日本大震災における高齢者施設の危機管理や当時の状況、支援隊の様子

部会報告

看護・介護部会

平成24年度の看護・介護部会では、防災に対する意識付け『現場で周知されているか』をテーマに開催いたしました。

東日本大震災に災害ボランティアに参加した方の状況レポートをパワーポイントで報告しました。その後は防災対策について施設間の現場レベルでの情報交換を行い、施設のマニュアルが周知されているのか？実際に動けるマニュアルになっているのかを討議しました。同じサービスの施設として他施設の良い所を学べる部会は良い機会だと思えます。研修に参加して改めて自分の施設を振り返り、入所者様が困らないように、まず職員が困らないようにしたいとの声が聞かれました。

第2回では施設の災害対策についての発表と具体的な取り組みを情報交換し、有意義な研修となりました。これからも施設間の情報交換の拠点として看護・介護部会を開催していきます。



通所リハビリ部会

平成24年度のリハビリ部会が、静岡県総合福祉会館「シズウェル」にて平成24年10月30日に37施設55名の参加、平成25年2月19日には26施設33名の参加を頂き、二回にわたって開催されました。第一回の部会では、「魅力ある通所サービス」をテーマに話し合い、又「各施設の自慢のクラブ紹介」として、いくつかの施設にデモンストレーションをして頂きました。印象に残ったのは、「わっはっはっは、わっはっは」と笑うつもりで声を出していると、自然とそこに笑いの連鎖が生まれ、幸せな気持ちになっっているという事でした。私達が「笑顔」を提供し、利用者様の「笑顔」をもらい各施設が幸せな時間が過ごすことができたらいなと感じました。

第二回の部会では、「利用者様から望まれるサービスを目指して」を主題に大小3グループでの意見交換をしました。多くの意見として出されたのが、レクをいかに充実させ多くの利用者様が楽しめるものを提供できるか、又送迎方法や入浴に



ついでの問題点、リハビリでの充実等でした。皆様にご満足頂けるより質の高いサービスを提供する事が重要であると改めて感じました。年度末ということで少人数の参加者でしたが、逆に内容の濃い活発な意見交換ができました。今後も参加して頂く皆様に、互いに切磋琢磨して密な連携を図っていきたいと考えています。皆様の有意義な場として活動できますようお願いしています。



支援相談員部会

平成24年11月28日もくせい会館にて支援相談員部会を開催しました。49施設の参加があり、業務をする中で困っていること・疑問・課題などについて、9つのグループに分かれ、意見や情報交換を行いました。

最も多くのグループで話し合われたテーマが入所判定に関するものでした。服薬内容についての施設基準や処方変更の説明・調整などの状況・入所判定前のアセスメント方法、緊急入所の対応状況など具体的な情報交換が行われました。

平成24年度の介護保険報酬改定後の施設の対応についても多くのグループで話し合われました。施設内で他職種が一層連携をしターミナルケアに取り組む施設や、ミドルステイを積極的に取り組み、在宅復帰施設としての機能向上に力を入れる施設などの状況が話し合われました。また東部・中部・西部いずれも高齢者施設が増設されたことが、ベッド稼働率に影響し、医療機関などの地域関係機関との情報連携を強化する様子も話し合われました。

アンケートでは「施設内で支援相談員は数少ないため他施設と情報交換ができ参考になった」「今後も情報交換の場を設けてほしい」との意見がありました。

地域と施設を繋ぐ窓口として支援相談員が日々感じているニーズや、介護老人保健施設として期待されている機能などにおいて、支援相談員がどう役割を担えるかを見出す参考になりました。また、支援相談員同士の横の繋がりもでき、今後も地域を支える介護老人保健施設作りを目指していきたいと思えます。



平成24年度 職員研修発表会

◆第1回 職員研修発表会の演題

平成24年9月26日(水) 13:30～15:30
静岡県総合社会福祉会館「シズウェル」

- ★「リハビリテーションマネジメント加算における居宅訪問の活用」 [あおばケアガーデン]
- ★「施設での希望がもてる生活」 [マインド]
- ★「スピーチロックに関する研修後の職員の意識変化」 [あらたま]
- ★「自尊心の高い認知症利用者の対応から学んだこと」
～一事例を通して～ [ケアセンター池田の街]
- ★「R4システムを利用した在宅復帰までの流れの1例」 [のぞみ]



◆第2回 職員研修発表会の演題

平成25年2月13日(水) 10:30～15:30
静岡県総合社会福祉会館「シズウェル」

- ★「回復期から生活期に来て感じた事」
～この1年を振り返って～ [ユニケア岡部]
- ★「喜怒哀楽のある充実した生活のため」
～タッチケアを通して～ [花平ケアセンター]
- ★「身体拘束ゼロへの歩み」
～取り組みの過程は継続の力～ [ケアセンター芳川]
- ★「その人らしさを求めて」
～センター方式から見た本人像～ [あしたかケアセンター]
- ★「膝への負担軽減を目的とした在宅移乗動作の指導例」 [アリス草薙]
- ★「【もっと食べたい】が聞きたくて」 [なかよし]
- ★「利用者様に安心してサービスを利用いただくには」
～車イスでの乗車体験・入浴体験～ [ユニケア岡部]
- ★「快適な睡眠を目指して」
～安らかな睡眠につなげるケア～ [さくら]
- ★「認知症専門棟における身体拘束廃止に向けた取り組み」
～身体拘束疑似体験とホールの環境改善を通して～ [グリーンヒルズ藤枝]



研修会参加レポート

職員研修発表会に参加して…

2011.3.11 東日本大震災が起きました。この地震の震源は陸から200km離れた地点でありましたが、津波による被害は甚大なものでした。また、17年前の 1995.1.17 阪神淡路大震災がありました。この地震は直下型の地震であったため、震度6強の強い揺れで多数の家屋やビル、高速道路が倒壊し辺り一面火の海となりました。今、静岡県でいつ起きてもおかしくないと言われている南海トラフ巨大地震は、阪神淡路大震災のように足元で起き震度7の強い揺れと、東日本大震災のように津波の被害が予想され、最悪の場合には下田で33メートルの高さになり、更に駿河湾内では、5分で津波が到達すると予想されています。8月29日に国の二つの有職者会議は、地震・津波による死者数や建物被害、津波の浸水域、津波高を公表し、死者数は最大で32万人、都府県別では静岡県が10万9000人で最多。原因別では津波による死者が最も多く23万人。建物被害により自力で脱出できず、救助が必要になる人は31万1000人と発表しました。これは過去に起きた巨大地震の悪いところが重なると予想されるからです。静岡県では初日から3日間を人命救助にあたり、4日から5日を食料・飲料水の確保、その後は、災害復旧としているため、私たちは最低3日の食事と飲料水を備蓄しておかなければなりません。しかし、実際には、対応も遅れることが予想されるので1週間分の食事と飲料水を備蓄して欲しいとのことでした。当施設では1週間分の食事と飲料水は常に保存してありますが、避難者の受け入れも協力しなければいけないので、量は検討したいと思います。

東日本大震災での高齢者施設の実例が2つ紹介されましたが、この2件とも職員と利用者が多数犠牲になりました。その原因の主なものが避難時に使用した車です。避難時に多数の方が車を利用したため、また、停電で信号機が機能せず渋滞が起り障害となりました。特に高齢者施設では、避難するには車輛が必要となり、ピストン輸送中車輛が被害にあいました。避難時は車を使わないで済むように高台に移転するなど、避難しなくてもよい環境づくりが望ましいのですが、現実には難しい状況です。

最も気になったことが、岩手県の大槌町が津波の被害にあいました。大槌町では役場の前に対策本部を設置し幹部の殆どの方が犠牲になってしまいました。一方、山田町では、役場の1階が駐車場になっていたため人的被害はありませんでした。1年後、二つの町では、復興の差が激しく大槌町は写真で見る限り殆ど建物はありませんでした。幹部がいなくなり、組織が機能しなくなったとのことでした。当施設でも初動チームは殆ど浸水域に自宅があるため、自分たちが避難することで動けなくなることが予想されます。人選についても一度検討するべきだと思います。

最後にまず、自分を守ることを第一優先して欲しいとのことでした。利用者の方には事前に説明が必要ですが、災害の際、職員はまず最初に避難し、その後救援活動をする。究極の選択ですが、見捨てる勇気を持ち仮にその方が犠牲になったとしても罪悪感をもたないような教育が必要とのことでした。実際、見捨てる事が出来ずに避難支援者が多数犠牲になったそうです。これは本当に究極の選択で難しい問題ですが、職員に精神的な部分についても教育していかなければいけないと思いました。

事務次長





新人研修として取り入れた利用者様に安心してサービスをご利用いただくにあたっての車椅子での乗車体験・入浴体験は大変参考になりました。車椅子に乗っている際声かけをされても、すぐに動くことと恐れ、介護者の不安な顔を見ると恐れ、利用者様の気持ちを理解する、というポイントは自分に置きかえ、すぐに実行したいと思いました。

通所介護職員として改めて自覚をし、利用者様に接していかなければならないと思った事もそれぞれの発表でありました。

悩みや不安を少しでも取りのぞける様、積極的にコミュニケーションをとる事、会話をすることで気持ちを楽しんでもらう事、他の利用者様との交流の場所を提供する事、職員の対応により、ご本人にとって不愉快なものになってしまうケースもあるという事を再認識いたしました。しっかりと向きあった会話を心がけ、利用者様との信頼関係を生む事により安らぎを感じてもらえる様にしたいと思いました。

誰でも老いはくるものであり、その時、いかに楽しく生活できるかそのサポートをしていける職員に近づける様努力していきたいと思います。

介護職員

他施設の防災に対する意識、準備をきけたこと、富士宮の地震、東日本大震災時の計画停電の対応、職員間のコミュニケーションの大切さ、こまかな配慮、準備の大切さを学びました。見落している部分もおおくあった。

委員会で検討し、準備、訓練の見直しをしていきたいと思っています。

とても勉強になった。

他の施設の職員の方から話を聞くことができ有意義な時間でした。また、自分の施設のこれからの防災対策に参考となる話しも、たくさんで、とてもよかった。

施設によって様々な防災対策があるということ。マニュアルが職員1人ひとりに、しっかりと伝わっているかの確認。

他の施設で行っている対策ですぐにできそうなことを、やってみてはどうか。

身近な停電時に、どうするかを細かく決めた方がいいということ。

他施設の情報を得られ、ありがとうございました。
他施設での取り組みについて

- ・防災センターの見学をしている。
- ・近隣の方と話し合いをもち、施設自身が、近隣の方の受け入れる事となっており、また、避難にこられた方も一緒に入所者の避難（2階→3階→4階へ移動）の協力をしてもらう約束をしている。
- ・毎月勉強会、避難訓練を行っている…など

津波の心配のある施設では、緊張感をもって、取り組まれており、参考に自身の施設も取り組まなくてはいけないと思いました。



研修参加しぽ

他の施設とのグループワークで、お話をさせて頂き色々勉強になり、必要な情報を聞く事が出来て、自分達の施設での今後の活動にとりいれていこうと思う。

- ・他施設では海に近い所が多く、津波の心配がある施設があり、とりくみにもみえた。
- ・まづ、災害防災についての意識づけをもう一度して、マニュアルは、あくまでマニュアル、その時にいる人数で、柔軟な考えで優先順位を決めていける職員になるように訓練が必要。
- ・安心メールの導入検討。



グループディスカッションでは、各施設マニュアルの存在は周知されているが、活用可能なレベルでの内容周知ができておらず、現実的に困難であると話し合いが進まない状況もあった。

あらゆる勤務帯、スタッフの組み合わせに応じ実際にどの様に動いたらいいのか。何がどこにあるのか、停電の際何が使用可能か等具体的な内容について細部に渡り周知徹底する必要があるという考えで一致した。

全職員が存在するマニュアルを日常的に目を通し(見たくなるマニュアルの改善)繰り返し意識づける事で、まず現場で動けるよう訓練をしていく。話し合いを重ねる。勤務しながらシュミレーションをする。

- ・各施設での取り組みを知る事ができて良かった。又、自分の施設はどれくらいできているのかを知る事ができて良かった。
- ・災害時等の場合の連絡方法、Tel⇒メールにて行う「メールの一斉送信」
- ・薬の(3日分の)持ち出しサマリーの持ち出し
- ・利用者様をまじえた防災訓練の実施
- ・図上訓練、記上訓練などの導入
- ・地域住民との協力、対応について

富士山の噴火について、したらどうする?マニュアルの作成をしたいが、なかなか思う様に行かない現状、地域住民との協力、避難所としての受け入れについて。

いろいろな施設での防災、火災のマニュアルを聞ける事ができました。施設により違いがあり、たいへん参考になりました。

- ・職員の意識(防災、火災)の徹底
- ・災害時、できる範囲のマニュアル作成
- ・夜勤等での職員の役割り
- ・食料、水、薬の管理
- ・身近な停電に対する職員の対応

「防災」について、実際自分のこととして考えたことがなかった。もし、自分だったらどう動けばいいのか、イメージすることの大切さを学んだ。

- ・マニュアルも大切だが、一番必要なのは各自がイメージし、どう動くかを自分のこととしてとらえること。
- ・実際に使える自分たちのマニュアルを整備してこうという働きかけを行う。

平成24年度 表彰

第21回 全老健岡山大会演題発表「奨励賞」



★ 介護老人保健施設 白梅豊岡ケアホーム

老人保健施設における食事支援チームの取り組み
～食事支援を実施することによる入所者の変化～

★ 介護老人保健施設 あすなろ

Let's 施設から家庭へ
～逆デイへの取り組み～

事務局ご挨拶



春暖の候、会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、私ども介護老人保健施設白梅ケアホームは、3期6年間務めてまいりました静岡県老人保健施設協議会事務局を退くこととなりました。会員の皆様の温かなご協力によりまして、つつがなく重責を果たせたことに深謝いたします。ふり返りますと前会長、事務局の介護老人保健施設西山ウエルケア、渡邊庸一先生からの襁、素晴らしい業績と財産を引き継ぐ事ができ、1年目には東海北陸ブロック老健大会を浜松市で開催するなど、充実した6年間でありました。本当にありがとうございました。この襁は後任であります介護老人保健施設ヒューマンライフ富士、中島一彦先生に引き継がれ、さらなる発展をもたらしていただけると信じております。

今後とも静岡県老人保健施設協議会を、皆様のお力で盛り上げていただけますようお願い申し上げます。退任のご挨拶に代えさせていただきます。

静岡県老人保健施設協議会 事務局長 後 藤 京 子

第9回 東海・北陸ブロック老健大会

- ◆ 日程 / 平成25年5月16日(木)
10:00～17:00
平成25年5月17日(金)
9:00～13:00

- ◆ 会場 / 長良川国際会議場
(岐阜県岐阜市長良福光2695-2)

大会ホームページ
www.rouken-tokai-hokuriku.jp/

第24回 全国介護老人保健施設大会 石川

- ◆ 日程 / 平成25年7月24日(水)
～ 7月26日(金)

- ◆ 会場 / 石川県立音楽堂、ホテル日航金沢
ANAクラウンプラザホテル金沢ほか

大会ホームページ
www.roken2013-ishikawa.jp

平成24年度 静岡県老人保健施設協議会 事業報告

平成24年

5月17日～18日	第8回 東海・北陸ブロック老健大会 99演題中静岡県12演題発表（座長2名派遣） 東海・北陸ブロック役員会	愛知県 名古屋市
5月24日	幹事会	静岡市
6月5日	平成24年度 静岡県老人保健施設協議会 定期総会	静岡市
7月31日	第1回 静岡県保健医療計画作業部会	静岡市
9月10日	全体研修会（高齢者施設における危機管理について）	静岡市
9月24日	幹事会	静岡市
9月26日	第1回 職員研修発表会 5演題発表	静岡市
10月3日～5日	第23回 全国老人保健施設大会・美ら沖縄（座長4名派遣）	沖縄県 宜野湾市
10月30日	第1回 通所リハビリ部会 研修会	静岡市
11月9日	第1回 看護・介護部会 研修会	静岡市
11月22日	第9回 東海・北陸ブロック老健大会打合せ会（事務局長出席）	岐阜県 岐阜市
11月27日	幹事会	静岡市
11月28日	第1回 支援相談員部会 研修会	静岡市
12月6日～7日	臨時総会・1泊実務者連絡会	浜松市

平成25年

1月15日～16日	老健施設 2025 ビジョンワークショップ	東京都
2月13日	第2回 職員研修発表会 9演題発表	静岡市
2月15日	ふじのくに安心地域支え合い体制づくり県民会議	静岡市
2月16日	第1回 機関誌「老健しずおか」編集会議	静岡市
2月19日	第2回 通所リハビリ部会 研修会	静岡市
2月26日	第2回 看護・介護部会 研修会	静岡市
2月26日	全国老人保健施設協会 支部事務担当者会議（事務局長出席）	東京都
3月8日	支部長 総会 第2回 臨時社員総会	東京都
3月16日	第2回 機関誌「老健しずおか」編集会議	静岡市

その他

■平成24年度 新規加入施設：6施設

白梅県居ケアホーム、星のしずく、はるのケアセンター
リハビリパーク駿府、八幡の森、富士中央ケアセンター

■平成24年度 退会施設：1施設

すずかけの街

■合計加入施設数：101施設

県内老人保健施設地区別所在地案内

各施設の窓口が直接利用のご希望をお受けいたします。まずはお気軽にお電話下さい。

東部地区

リ バ ブ ル ケ ア	〒418-0105	富士宮市原682	TEL (0544) 54-1800
タ カ ネ 園	〒410-0305	沼津市鳥谷611-1	TEL (055) 967-8800
み く り や 園	〒412-0042	御殿場市萩原354-1	TEL (0550) 83-3567
ヒューマンライフ富士	〒417-0801	富士市大淵3901-1	TEL (0545) 36-0511
富士ケアセンター	〒418-0035	富士宮市星山1129	TEL (0544) 22-3111
安 寧 の 郷	〒410-2315	伊豆の国市田京1258-44	TEL (0558) 76-8100
梅 名 の 里	〒411-0816	三島市梅名578	TEL (055) 977-8686
長泉ケアセンター博寿園	〒411-0945	駿東郡長泉町本宿418-1	TEL (055) 989-1121
お お ひ ら	〒410-0821	沼津市大平1117-1	TEL (055) 934-1165
あ す な ろ	〒412-0045	御殿場市川島田1076-2	TEL (0550) 88-0007
熱海ナースিংホーム翔寿園	〒413-0002	熱海市伊豆山字七尾原1173-172	TEL (0557) 80-3712
き き ょ う の 郷	〒416-0946	富士市五貫島175	TEL (0545) 65-2000
ラ・サンテふよう	〒411-0047	三島市佐野1205-3	TEL (055) 989-7000
の ゾ み	〒414-0001	伊東市宇佐美2405-2	TEL (0557) 48-0658
み ゆ き の 苑	〒418-0005	富士宮市宮原337-4	TEL (0544) 28-3900
河 津 お も と 苑	〒413-0502	賀茂郡河津町川津筏場1512-18	TEL (0558) 35-7770
し お さ い	〒410-3514	賀茂郡西伊豆町仁科243-1	TEL (0558) 52-3000
な ぎ さ 園	〒415-0152	賀茂郡南伊豆町湊674	TEL (0558) 62-6800
ひ ろ み	〒417-0801	富士市大淵39-1	TEL (0545) 21-6600
グリーンズ修善寺	〒410-2413	伊豆市小立野100-2	TEL (0558) 74-3300
サ ン 静 浦	〒410-0106	沼津市志下344-1	TEL (055) 934-6000
椎 路 の 里	〒410-0302	沼津市東椎路32-1	TEL (055) 927-3900
夢 の 樹 の 郷	〒411-0902	駿東郡清水町玉川183-1	TEL (055) 971-1000
みしゅくケアセンターわか葉	〒410-1107	裾野市御宿1475	TEL (055) 997-8181
い か る 野	〒418-0105	富士宮市原709	TEL (0544) 54-3200
み は ら し	〒414-0055	伊東市岡187	TEL (0557) 37-3804
ふれあいの下田	〒415-0013	下田市柿崎32-10	TEL (0558) 27-0700
い と う の 杜	〒414-0002	伊東市湯川288-9	TEL (0557) 35-4165
サンビューみしま	〒411-0801	三島市谷田字藤久保2276	TEL (055) 983-6050
か ぐ や 富 士	〒417-0826	富士市中里2546-7	TEL (0545) 32-2150
あしたかケアセンター	〒410-0875	沼津市今沢372-5	TEL (055) 967-3711
新富士ケアセンター	〒417-0801	富士市大淵字大峯3898-1	TEL (0545) 36-2212
富士中央ケアセンター	〒419-0201	富士市厚原372-1	TEL (0545) 72-3800

中部地区

ケアセンター瀬名	〒420-0903	静岡市葵区長尾39-5	TEL (054) 264-2221
あ か つ き の 園	〒424-0917	静岡市清水区駒越2883-1	TEL (054) 334-5533
ケア・センターひまわり	〒424-0934	静岡市清水区村松原1-2-34	TEL (054) 336-3033
焼 津 ケ ア セ ン タ ー	〒425-0062	焼津市中根新田1315	TEL (054) 623-8111
コミュニティケア高草	〒425-0005	焼津市方ノ上358-1	TEL (054) 627-5588
サ ン ラ イ ズ 大 浜	〒422-8045	静岡市駿河区西島528	TEL (054) 282-2839
楽 寿	〒421-2115	静岡市葵区与左衛門新田98-11	TEL (054) 296-1112
こ み に	〒420-0963	静岡市葵区赤松8-16	TEL (054) 209-7000
ケアセンターゆうゆう	〒425-0052	焼津市田尻4	TEL (054) 625-0321
カリタス・メンテ	〒426-8662	藤枝市水上123-1	TEL (054) 643-1266
グリーンヒルズ藤枝	〒426-0133	藤枝市宮原420-1	TEL (054) 639-1234
エ コ ト ー プ	〒428-0007	島田市島534-1	TEL (0547) 45-0111
ア ポ ロ ン	〒427-0047	島田市中溝町1714-1	TEL (0547) 34-2000
ア リ ス 草 薙	〒424-0886	静岡市清水区草薙424-7	TEL (054) 347-6511
萩 の 里	〒422-8018	静岡市駿河区西大谷12-5	TEL (054) 236-1155

中部地区

は る か ぜ	〒421-0514	牧之原市菅ヶ谷1240-1	TEL (0548) 52-7771
き よ み の 里	〒424-0203	静岡市清水区興津東町1829	TEL (054) 369-7700
葵 の 里	〒421-0135	静岡市駿河区小坂376-1	TEL (054) 257-2281
芙蓉 の 丘	〒421-3306	富士市中之郷2500-1	TEL (0545) 56-2311
あ み	〒421-2109	静岡市葵区福田ヶ谷73-2	TEL (054) 206-1777
コミュニティケア吉田	〒421-0302	榛原郡吉田町川尻1700-1	TEL (0548) 34-5577
さ く ら	〒427-0011	島田市東町1331	TEL (0547) 33-0800
マ イ ン ド	〒426-0075	藤枝市瀬戸新屋487-2	TEL (054) 643-3601
フォレスト 藤枝	〒426-0033	藤枝市小石川町2-8-13	TEL (054) 647-3833
か り ん	〒421-0105	静岡市駿河区宇津ノ谷1-1	TEL (054) 268-6666
ケアセンター池田の街	〒422-8005	静岡市駿河区池田185-1	TEL (054) 267-2211
鶴 舞 乃 城	〒424-0114	静岡市清水区庵原町3158	TEL (054) 361-1234
ユ ニ ケ ア 岡 部	〒421-1131	藤枝市岡部町内谷1473-3	TEL (054) 667-5555
エスコートタウン静岡	〒420-0821	静岡市葵区柚木90-1	TEL (054) 267-1010
星 の し ず く	〒420-0805	静岡市葵区城北87	TEL (054) 200-5555
リハビリパーク駿府	〒420-0873	静岡市葵区籠上8-6	TEL (054) 266-3611

西部地区

西山ウエルケア	〒432-8001	浜松市西区西山町411-2	TEL (053) 485-5500
三方原ベテルホーム	〒431-1304	浜松市北区細江町中川7421-1	TEL (053) 436-6600
みっかび東介護老人保健施設	〒431-1404	浜松市北区三ヶ日町宇志34-1	TEL (053) 524-2000
都 ケ ア セ ン タ ー	〒431-2102	浜松市北区都田町7555-52	TEL (053) 428-3133
な か よ し	〒438-0838	磐田市小立野135-1	TEL (0538) 34-6543
エ ー デ ル ワ イ ス	〒434-0041	浜松市浜北区平口2405	TEL (053) 585-1500
ハイマート有玉	〒431-3122	浜松市東区有玉南町1436	TEL (053) 434-7877
白梅ケアホーム	〒431-1112	浜松市西区大人見町3011-1	TEL (053) 485-7711
入野ケアセンター	〒432-8061	浜松市西区入野町6417	TEL (053) 440-1200
於保老健センター	〒437-1216	磐田市一色26	TEL (0538) 58-2550
エバーグリーン掛川	〒436-0043	掛川市大池680	TEL (0537) 21-0550
さ い わ い	〒431-3423	浜松市天竜区渡ヶ島221	TEL (053) 583-1156
おおふじ五幸ホーム	〒438-0002	磐田市大久保508-3	TEL (0538) 38-5511
さ く ら の 苑	〒438-0074	磐田市二之宮字仙水1162	TEL (0538) 33-3800
神 子 の 園	〒436-0084	掛川市逆川100	TEL (0537) 20-0080
袋井ケアセンター	〒437-0003	袋井市萱間933-1	TEL (0538) 49-4911
ま ん さ く の 里	〒431-0422	湖西市岡崎1353-1	TEL (053) 572-3911
は ま お か	〒437-1688	御前崎市池新田2070	TEL (0537) 86-8822
花平ケアセンター	〒431-2211	浜松市北区引佐町花平708	TEL (053) 542-4187
白脇ケアセンター	〒430-0846	浜松市南区白羽町1424	TEL (053) 444-3131
みかたはら介護老人保健施設	〒433-8105	浜松市北区三方原町675-6	TEL (053) 438-5886
ケアセンター芳川	〒430-0838	浜松市南区串野町24	TEL (053) 426-0003
天王介護老人保健施設	〒435-0051	浜松市東区市野町2495	TEL (053) 423-1070
あおばケアガーデン	〒437-1302	掛川市大淵4345	TEL (0537) 48-0002
風 の 杜	〒437-0214	周智郡森町草ヶ谷104-1	TEL (0538) 85-1121
さ わ だ の 庄	〒439-0037	菊川市西方5511	TEL (0537) 35-8889
白梅豊岡ケアホーム	〒438-0126	磐田市下神増183-1	TEL (0539) 62-1601
ナーシングホームオンフルール	〒437-0023	袋井市高尾1439-3	TEL (0538) 45-0080
五 洋 の 里	〒438-0234	磐田市掛塚3190-1	TEL (0538) 67-1755
長 鶴 の 郷	〒435-0031	浜松市東区長鶴町290	TEL (053) 423-2700
あ ら た ま	〒434-0004	浜松市浜北区宮口3152	TEL (053) 582-3211
えいせい掛川介護老人保健施設	〒436-0342	掛川市上西郷8021	TEL (0537) 20-1611
クロヤナギ介護老人保健施設	〒431-1404	浜松市北区三ヶ日町宇志34-1	TEL (053) 524-1000
鹿 島 の 郷	〒431-3312	浜松市天竜区南鹿島36-1-2	TEL (053) 925-5019
白梅県居ケアホーム	〒432-8036	浜松市中区東伊場二丁目14-35	TEL (053) 458-2100
はるのケアセンター	〒437-0605	浜松市天竜区春野町気田776-5	TEL (053) 989-1500
八 幡 の 森	〒430-0918	浜松市中区八幡町181	TEL (053) 476-1156

介護老人保健施設の 理念と役割

理念

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

5つの役割と機能

1

包括的 ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2

リハビリ テーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3

在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4

在宅 生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5

地域に 根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

静岡県老人保健施設協議会

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町3011番地の1

介護老人保健施設 白梅ケアホーム 内

TEL<053>485-7711 FAX<053>485-7712

<http://www.rouken-shizuoka.jp/>